

HIGASHIGO

RE:DISCOVERY

第3次東郷地区 地域づくり計画

(令和8年度～12年度)

東郷地区の

ゆるやかな挑戦

地域で生きる

田園の中で

歴史と生活が息づく南方町東郷地区



〈目次〉

第Ⅰ章 東郷地区の概要	P1～5
第Ⅱ章 これまでの地域づくり計画	P6～9
第Ⅲ章 第3次地域づくり計画	P10～13
資料編	
・住民アンケート調査結果	P14～24
・策定委員および策定委員会の様子	P25

第3次東郷地区地域づくり計画策定にあたって

当地区では、「地域のことは地域で考え、地域自らの責任によって決める」という考え方を基本とした「登米市まちづくり基本条例」に基づき、「東郷地区地域づくり計画」を策定し、子どもから高齢者まで、一人ひとりが生きがいを持ち、【豊かで楽しく・安心して暮らせる東GO】を目指して、平成28年度から令和7年度までの10か年（5か年毎に見直し）、計画に掲げた各種取組みを実践してまいりました。

地区住民の皆様には多大なるご支援・ご協力を賜り、お陰様で多くの事業を成功裏に進めることができました。改めまして、衷心より感謝申し上げます。

さて、この度、令和8年度から向こう5か年の第3次地域づくり計画を策定する運びとなり、役員および地域づくり事業部員等が中心となり策定委員会を立上げ、延べ5回に亘りワークショップを実施し、ここに計画書の策定に至りました。委員の皆様にはご尽力を賜り、改めて感謝申し上げます。

地域づくりは「住民の皆さん一人ひとりが主役」であることを意識することが基本となります。

「自分がやらなくても誰かがやってくれるだろう」という他力本願ではなく、地域を構成する一員として、当事者意識を持つことが何より重要です。

まずは1人で出来ることからはじめ、友人を誘って10人で、地域に声をかけ20～30人で、そして100人でと、共感・協働の輪が徐々に地域に広がっていくことを心から願ってやみません。

東郷地区コミュニティ推進協議会

会長 山田 俊道

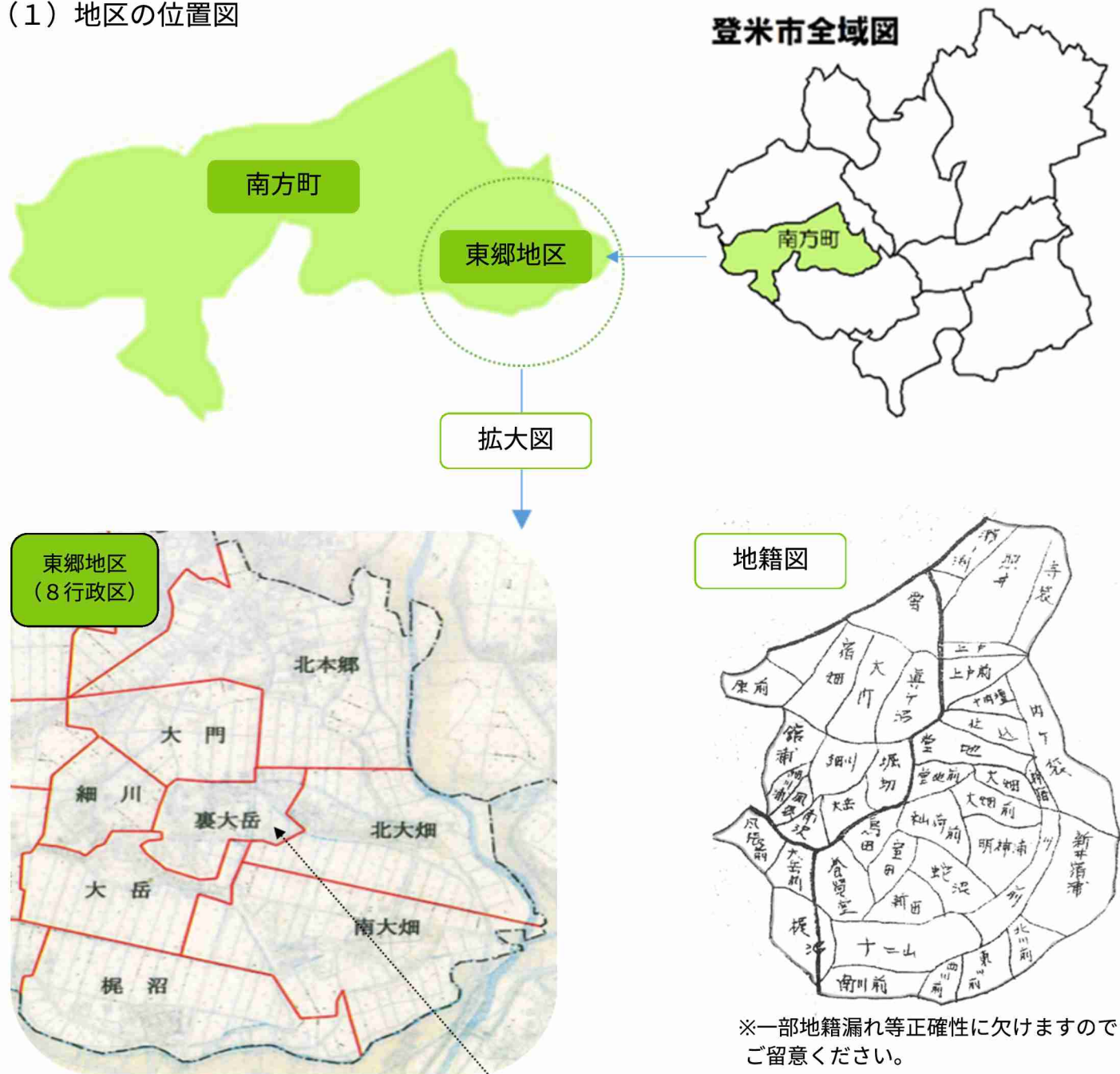
第Ⅰ章 東郷地区の概要

1 地区の特徴等

東郷地区は登米市の西部側に位置し、南方町の中では東部となり、東端には迫川が流れ、中心部には大嶽山が鎮座し、その麓に広がる平坦な土地柄、稲作等の農業が中心の地域。

また、地区北部は迫町佐沼地区に隣接しており、比較的人口密度が高い行政区があり、地区全体では南方町内の1/3に当たる住民が暮らしています。

(1) 地区の位置図



※東郷公民館を東側より撮影

(2) 地区コミュニティの沿革

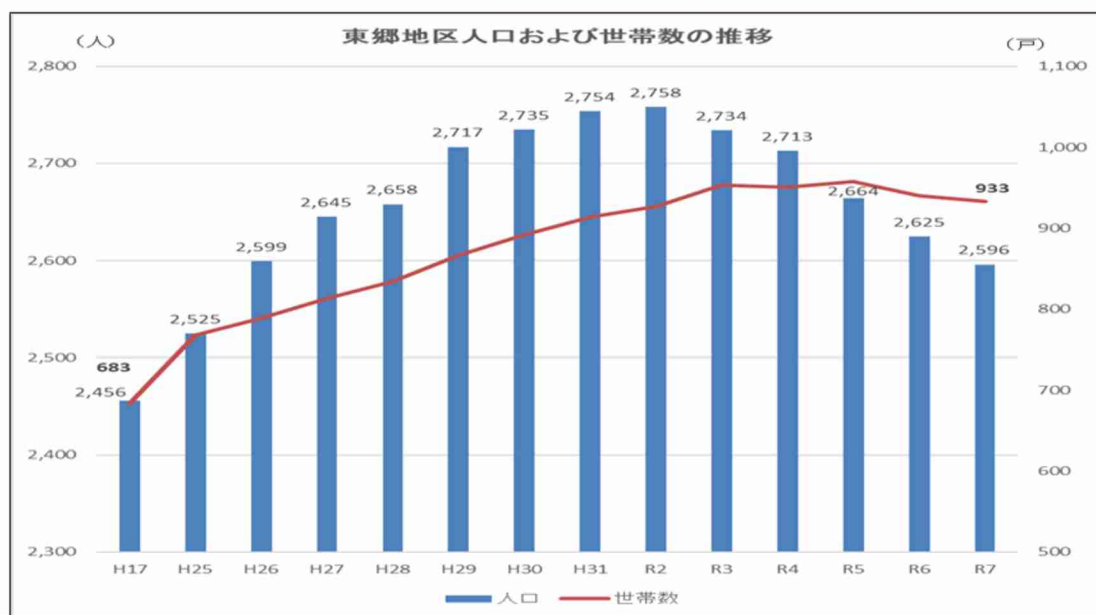
年 号	内 容
昭和54年	東郷分館が独立公民館として発足。町内3公民館体制となる。 地区内8行政区で東郷地区コミュニティ推進協議会を設立。 南方老人福祉センター（現東郷公民館）完成。
昭和56年	南方定住促進センター完成。
昭和59年	東郷運動広場完成。
平成21年	当推進協議会設立30周年記念式典開催。
平成22年	南方コミュニティ運営協議会（東郷・中央・西郷地区コミュニティ推進協議会）発足。
平成23年	南方コミュニティ運営協議会として、登米市より指定管理者制度を受託する。

(3) 地区の人口等（出典：登米市住民基本台帳 令和7年3月末時点）

◇人口および世帯数

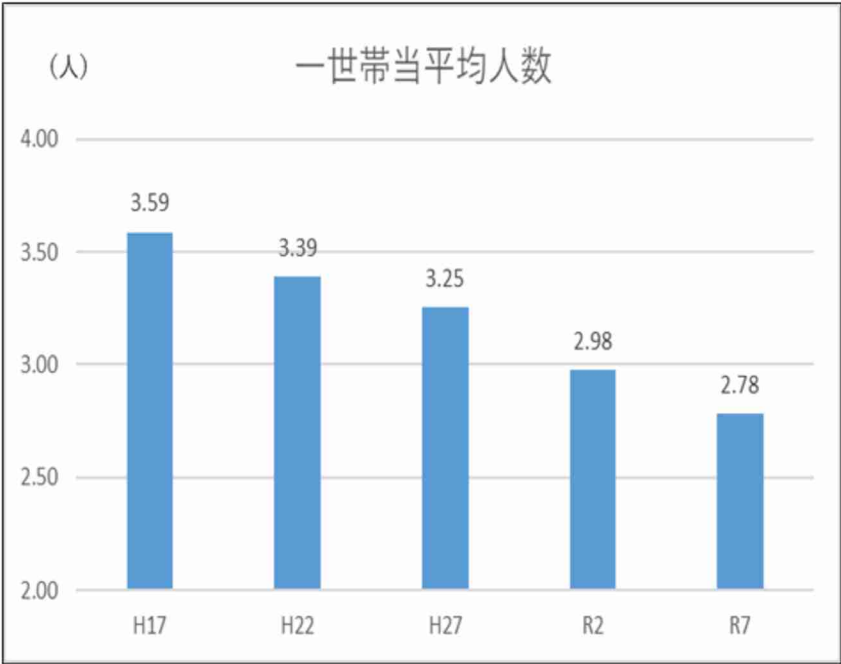
当地区の人口は他の地域とは異なり、令和2年度までは右肩上がりに増加しています。また、世帯数は令和5年度まで増加傾向にありました。地区的には北本郷区と大門区が該当し、アパート群の増築および東日本大震災で被災された方々の移住が大きく影響しているものと捉えています。

単位：人			単位：人・戸		
地区名	人口	割合	区 名	人 口	世 帯 数
東 郷	2,596	33%	北本郷	1,172	471
中 央	3,091	40%	大 門	406	142
西 郷	2,095	27%	細 川	123	41
計	7,782	100%	裏大嶽	168	50
			北大畑	196	58
			南大畑	273	87
			大 岳	120	39
			梶 沼	138	45
			計	2,596	933



◇一世帯当平均人数

当地区の一世帯当平均人数は、令和7年3月末時点で2.78人と平成17年の3.59人から0.81人減少しており、この20年で3人を下回り、核家族化が進展していることがうかがえます。



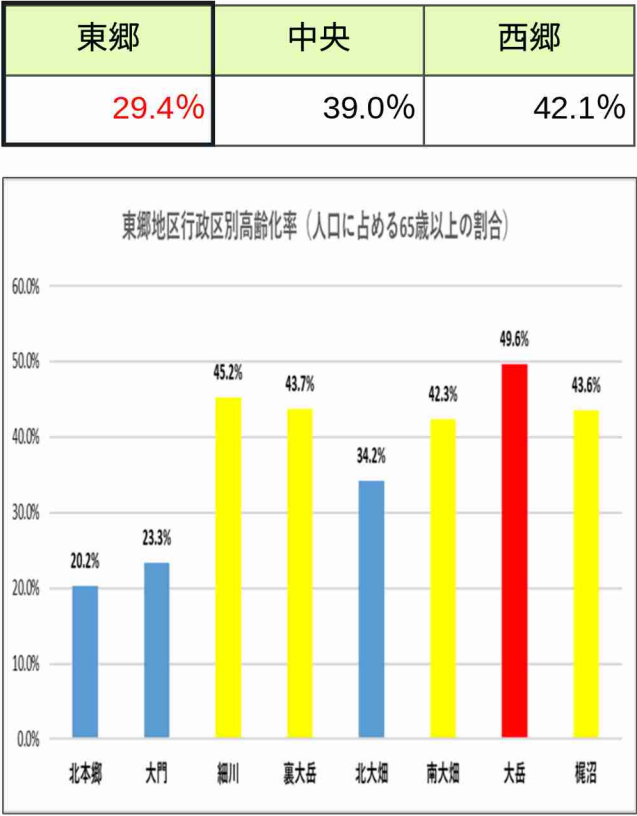
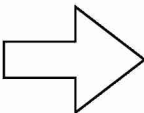
※行政区別 単位：人

区 名	一世帯当平均人数
北本郷	2.49
大 門	2.86
細 川	3.00
裏大岳	3.36
北大畑	3.38
南大畑	3.14
大 岳	3.08
梶沼	3.07
計	2.78

◇高齢化率（人口に占める65歳以上の割合）

当地区の高齢化率は、30%を下回っており、高齢化の進展は急速化していない感はあるものの、40%超の行政区が8区中、5区あり、迫町近隣以外の行政区の高齢化は着実に進展していることがうかがえます。

地区	高齢化率
南方町	36.2%
迫 町	33.7%
登米町	45.5%
東和町	47.3%
中田町	36.0%
豊里町	38.1%
米山町	41.7%
石越町	43.0%
津山町	46.3%
登米市	38.3%



(4) 主な施設等

- ・東郷小学校（令和11年4月、南方小学校へ統合予定）
- ・大嶽山農村公園（交流広場・交流ハウス）

(5) 主な文化財等

【文化財マップ】 出典：南方町教育委員会、南方町文化財保護委員会



注) 番号は上段のマップに準じています。

②興福寺観音堂（大嶽山）

本尊は十一面観世音菩薩、大同二年田村麻呂将軍創建、京都清水寺僧延鎮開基と伝えられる。
観音堂の板壁には平成十二年に修復された中国古来の二十四孝物語（一部）の絵が描かれている。

③興福寺六角堂（大嶽山）

洋風建築で納骨堂になっていた。

⑩掛越（北本郷）

南方佐沼街道の中宿場「一服掛茶屋」も明治の末頃まであった。

⑪照井神社（北本郷）

藤原秀衡の家臣である照井太郎高直がこの地で戦死し、その屍を葬った場所といわれている。

⑫至徳の碑（北本郷）

至徳は北朝の年号でこの地方の領主が北朝を受け入れていた姿勢が伺える。

⑬雷鳴塚（北本郷）

この地方は落雷が多いため、道端に塚を築き雷神を祀ったところ、落雷はなくなったという。

⑮真ヶ沼（大門）

川が幾重にも蛇行していた。改修した川の湾曲部が谷地や耕地の中に残ってしまった一つであろう。

⑯下館城（細川）

じとうしきかさいおおみのかみしげなが
文治年間地頭職葛西近江守重永の築城と伝えられている。

⑰堀切東遺跡（裏大岳）

奈良時代中期の遺跡とされる。

⑱阿弥陀堂（裏大岳）

氏神様で本尊は阿弥陀如来木立像。

⑳岩切城（裏大岳）

みだいどころすずかごぜんおんすまい
館主田村将軍御台所鈴鹿御前御住居の由とある。

たるぬまくぐりあな
㉑樽沼潜穴（裏大岳）

三百年以上を経た現在でも、改良区の用排水路として使用中。

㉒松ヶ崎遺跡（裏大岳）

出土品は縄文晩期又は奈良時代初期の土師器小片である。

㉓道祖神（大岳）

悪魔を防いで通行する人々を守ってくれる神であった。

㉔観音堂（北大畑）

ゆで豆を供えるしきたりがあって、通称「ゆで豆観音」とも呼ぶ。

にいじゆく
㉕新宿稲荷大明神（北大畑）

新田開発された頃は、相次ぎ水害のため、住民は困窮の極に達した。そこで宝暦年間に災害厄難除けに京都の伏見稲荷を勧請し、石宮を建立して祀らせた。

㉖赤城神社（南大畑）

藤原清衡がこの地に勧請し、山崎神社と名付け社領も寄進して祈願奉仕した。

㉗熊野神社（南大畑）

しばさきぶんごたいらのたねとよ
柴崎城の城主であり、大崎氏の家臣柴崎豊後平胤豊が紀州の熊野三所権現をこの地に勧請し御堂を建立した。

㉘柴崎城（南大畑）

文治年間、葛西重成（高壺千七百貫）の築城であるとされる。本丸跡約八百坪、二の丸跡約二千坪。規模雄大である。

しんめいぐう
㉙神明宮（梶沼）

明治四十二年に八幡社に合祀されたが、現在も部落の鎮守としている。流明神とも呼ばれている。

第Ⅱ章 これまでの地域づくり計画

1 地域づくり計画の変遷

東郷地区が持続可能となるよう、地区住民が主体となり、地域の特色を生かした魅力ある地域にするため、下記のとおり、平成28年4月に第1次地域づくり計画、令和3年4月に第2次地域づくり計画を策定し、それぞれ5か年計画で、住民自らが汗を流し、地域に根ざした各種事業を展開してきました。

第1次地域づくり計画

期間：平成28年度～令和2年度（5か年）

❖行動計画一覧

キーワード	プロジェクト	詳細
大切な暮らし情報や地域情報の発信活動　～L e t ' s 東GO！すぐそこ行こうよ大嶽山～		
情報	大嶽山道案内看板の設置	大嶽山へ入る道を分かりやすくするため道案内看板を作成する ※小学校や各行政区の子ども会からデザインを募集する
	パンフレットの作成	東郷全体と大嶽山（六角堂、オオムラサキ、アジサイ、自然など）のパンフレットを作成し新住民へPRする
	ホームページの作成	東郷地区コミュニティのホームページを作成する
嶽のように逞しく健やかな子ども育成活動　～遊・優・友・東郷っ子～		
子ども	子どもの居場所＆遊び場	放課後子どもが安心して遊べる場所づくり
	音楽教室＆英語教室	公民館で教室を開講してレッスンや発表会をする
	元気なシルバー世代の活躍づくり	家庭の本を持ち寄り読み聞かせを行う
		PTA行事でお年寄りが参加できる行事を増やす
	スポーツの指導員	行政区ごとに経験者リストに登録してもらい子どもたちへ指導する
	子ども農園	子どもや若者に農業体験をさせる
		子ども農園で育てた野菜の収穫祭をする
		子ども農園で育てた野菜を朝市で販売する
	スポーツ大会	スポーツで世代間交流（大嶽山杯）
	大嶽山の遊具	数年前から使用禁止になっている遊具を使えるようにする
		新しい遊具を増やす
	子育て支援	子ども手当を長くもらえるようにする
お祝い金のUP		
義務教育の諸経費無料化		
山の自然と人の温かみあふれる交流活動　～交流のものづくり・1000年のものづくり・東GO！～		
交流	オオムラサキ	国蝶オオムラサキを大嶽山のシンボルとする
		オオムラサキの飼育場所づくり
	自然豊かな大嶽山	広葉樹を植樹・沢を復活
	ビオトープ	生き物の観察施設づくり
	行政区の行事集約	敬老会を公民館で行う
	シンボルとなる行事の復活	芸能まつり
	お寺の行事	興福寺の御開帳をPRする（H29.7）稚児行列・どんと祭など
	町をキレイに	危険箇所チェック・ゴミ拾い・ゴミ焼き・野焼き等の臭いについて呼びかけ
	花いっぱい運動	公民館花壇に花を植える
	町民運動会	スポーツを通して世代間交流を図る
	秋祭り	公民館事業などで作成した作品の展示、芸能発表会
	軽スポーツ大会＆芋煮会	スポーツ大会の後に芋煮会を行う
	各種公民館事業	地域住民の教養の向上や進行を図る
	大嶽山の駐車場	テニスコート脇の駐車場を整備する
		看板を設置
	高齢者への支援	1人暮らしや介護家庭など高齢世帯に対する声かけ等の見守り支援
		1人暮らしの老人へ花を贈る

❖行動計画一覧

テーマ	項目	プロジェクト	主な取り組み
安心安全	地域防災の充実	防災訓練／避難所運営訓練	・地域や学校と連携し、防災講座や訓練を行う
		自主防災組織へのサポート	・防災設備点検の実施
	情報発信	SNSの活用	・LINE等を活用し、情報提供を行う
		ホームページで各種情報発信	・災害情報、健康情報等の発信
		各種案内看板の設置・見直し	・大嶽山、公民館、危険箇所の看板
地域環境	高齢者支援	見守り活動	・独り暮らし世帯への声掛け ・緊急連絡先カードの配布 ・シクラメンの花のプレゼント
	東郷クリーン大作戦	ゴミ集積所の管理支援	・センサーライトの設置 ・清潔に利用する為の啓発活動
		公民館周辺の清掃	・年に1回、奉仕作業による環境整備
	行政区活性化	行政区支援	・各行政区が行う事業や、困りごとの支援 ・花いっぱい運動
ふれあい	生き物観察	観察施設づくり	・生き物を観察する場を作る ・オオムラサキハウスの修繕
	憩いの場づくり	公民館の開放	・地域の人が中心となった【東GOマルシェ】の開催 ・東郷小学校児童の学習の場
	子どもの育成	子ども農園	・体験を通じて農業に興味関心を持ってもらい、収穫祭を開催する
		サイクリング事業	・安全な自転車の乗り方や、交通ルールを学ぶ
	世代間の交流	ふれあいスポーツまつり	・子どもからお年寄りまで楽しめるイベントを行い、新たに移住してきた人達とも交流を図っていく

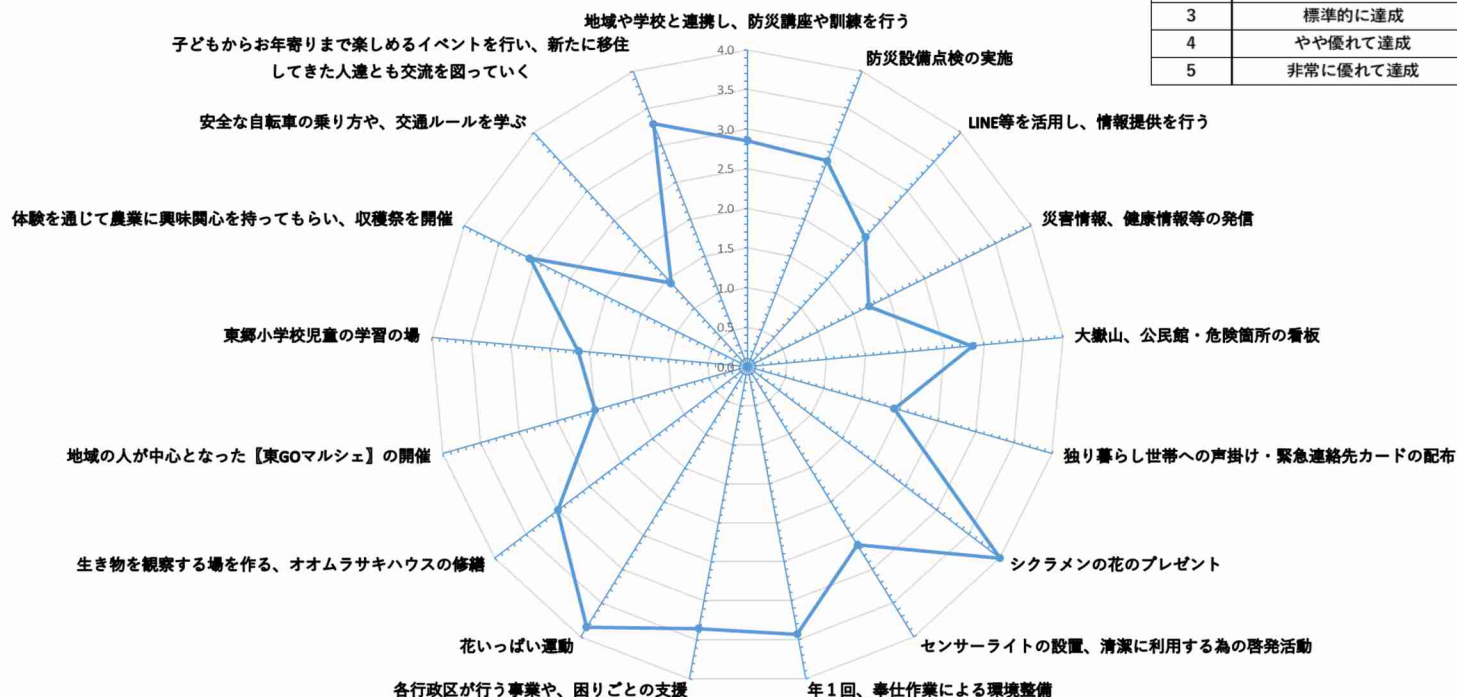
2 第2次地域づくり計画の評価

直近の第2次地域づくり計画で取り組んだ各事業を役員等各位に評価していただいた結果は以下のレーダーチャートのとおりです。

第2次地域づくり計画評価（レーダーチャート）

地域づくり計画策定委員26名により
以下の評点を平均したもの

評点	内 容
1	全く達成できていない
2	達成がやや不十分
3	標準的に達成
4	やや優れて達成
5	非常に優れて達成

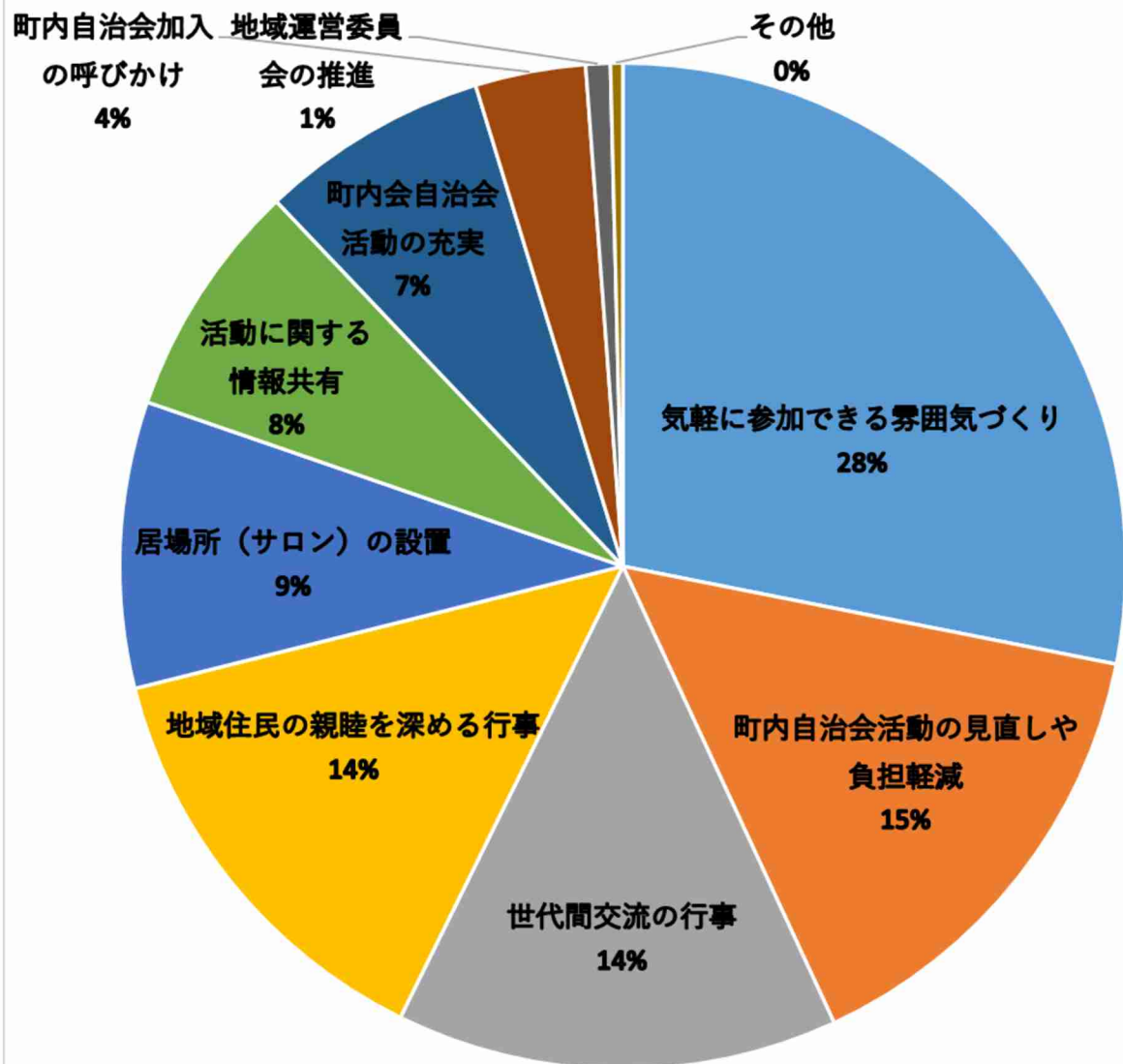


3 住民アンケート調査結果（抜粋）

令和7年5月に地域づくりに関する住民アンケートを地区内の中学生以上を対象に行い、住民ニーズの収集および要望等の把握に努めました。結果は以下のとおりです。

地域の絆やコミュニティを守るために取り組むことは？

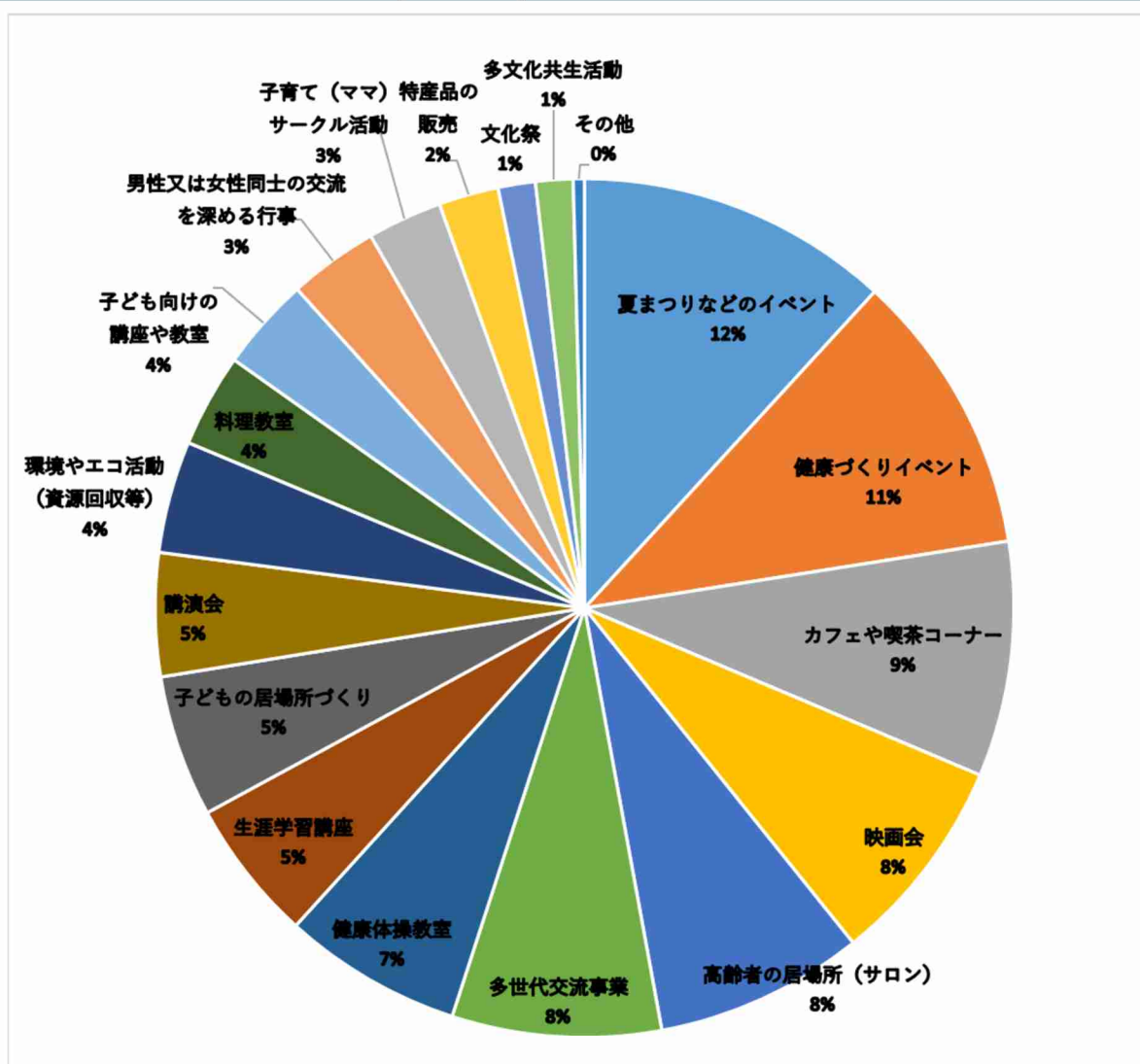
内容	票数	内容	票数
気軽に参加できる雰囲気づくり	214	活動に関する情報共有	58
町内自治会活動の見直しや負担軽減	114	町内会自治会活動の充実	56
世代間交流の行事	108	町内会自治会加入の呼びかけ	27
地域住民の親睦を深める行事	105	地域運営委員会の推進	6
居場所（サロン）の設置	70	その他	4



※詳細の結果は後段の資料編を参照ください。

コミュニティや地域団体に取り組んで欲しいことは？

内容	票数	内容	票数
夏祭りなどのイベント	84	環境やエコ活動（資源回収等）	30
健康づくりイベント	76	料理教室	25
カフェや喫茶コーナー	63	子ども向けの講座や教室	25
映画会	56	男性又は女性同士の交流を深める行事	24
高齢者の居場所（サロン）	56	子育て（ママ）サークル活動	20
多世代交流事業	56	特産品の販売	16
健康体操教室	48	文化祭	10
生涯学習講座	38	多文化共生活動	10
子どもの居場所づくり	38	その他	3
講演会	33		



※詳細の結果は後段の資料編を参照ください。

第Ⅲ章 第3次地域づくり計画

1 基本コンセプト

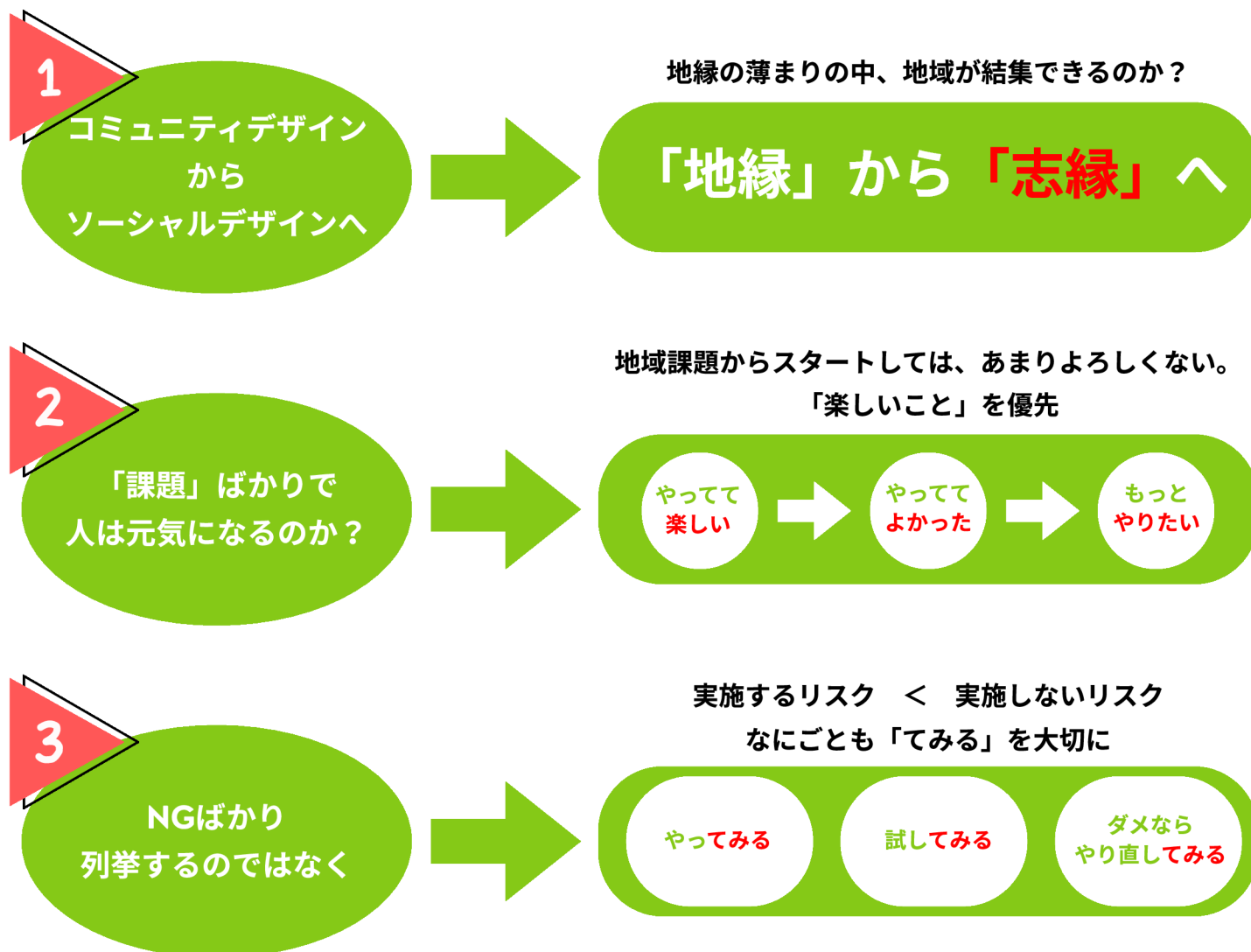
持続可能な地域に向けて、担い手の育成は重要なポイントであり、第3次計画の中核として、担い手づくりを掲げ、各世代間をつなぐことによって、リーダーシップが育まれ、次世代のリーダーが生まれてくることを目標としたいと考えます。

「世代をつなぐこと」

「今のひと」と「未来のひと」をつなげる

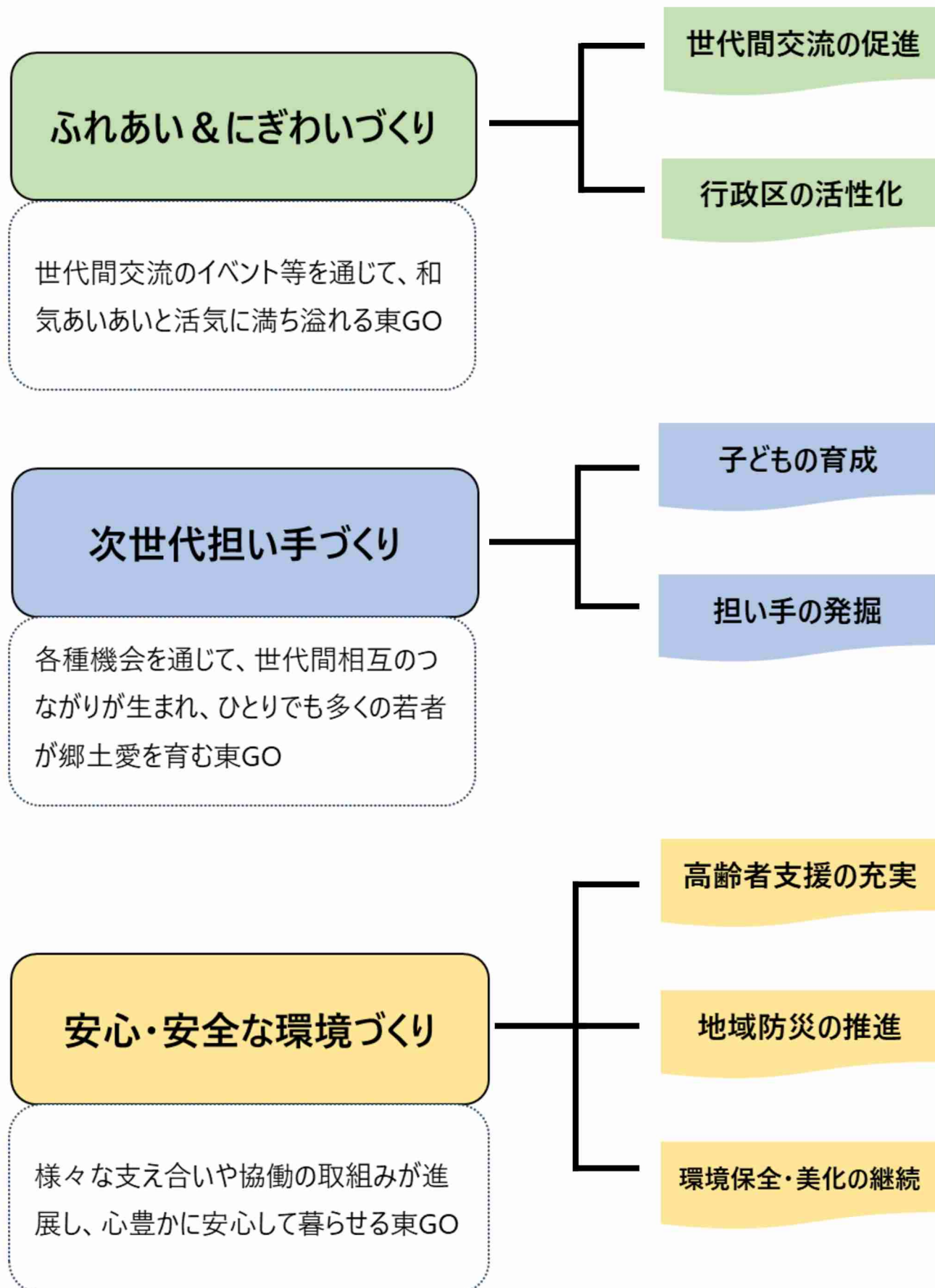
～人口が減ってもつながりがあれば、地域は元気になれる～

次の3つのポイントを意識しながら、各種取組みの実践に努めます。



2 テーマおよび方向性

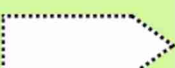
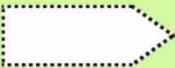
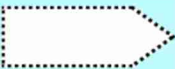
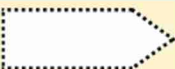
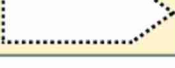
テーマおよび方向性は、第2次計画の評価や住民アンケートから把握されたニーズ等を踏まえ、3つのテーマを設定、そのテーマ毎に方向性を示し、具体的な行動につなげていくこととします。



第Ⅲ章 第3次地域づくり計画

3. 具体的行動計画

住民のニーズおよび「世代をつなぐこと」を意識し、リーダーシップが育まれる環境を整え、必要に応じて見直しや改善を行いながら、各取組みを実践していきます。

方向性	区分	取組み
世代間交流の促進	見直し	東GO！世代ごちゃまぜ大作戦 
	見直し	夏フェス東GO！大作戦 
	新規	軽トラ東GO！マルシェ 
行政区の活性化	継続	ふれ♡隊活動 
	継続	自治組織等活動奨励支援 
子どもの育成	見直し	夏休み青空教室 
	見直し	活かせる体験活動 
	継続	東郷小PTA協働イベント 
担い手の発掘	新規	ヤングワークショップ 
	新規	ミドルワークショップ 
高齢者支援の充実	新規	井戸端会議処 
	新規	交通弱者サポート 
	継続	見守り活動 
地域防災の推進	継続	各種防災講習・訓練 
	継続	自主防災組織活動奨励支援 
環境保全・美化の継続	継続	花いっぱい運動 
	継続	オオムラサキ飼育環境保全 



具体的内容				
令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)
子どもから高齢者まで老若男女問わず、気軽に参加できるレクリエーション大会開催（毎年10月中旬予定）				
縁日やステージコーナー等々、夕涼み時に夏まつりとして開催（毎年8月下旬予定）				
軽トラによる出店をメインとして、地場農産物や工芸品等のマルシェを開催（毎年7月・9月・11月予定）				
※軽トラマルシェについては、夏フェスもしくは世代ごちゃまぜ大作戦との併用も検討				
各行政区（老人クラブ等）が主体的に行う親睦会等への支援要請に応じて対応（要請の都度）				
各行政区が主体的に行う交流会・親睦会等へ活動奨励補助金を交付（申請の都度）				
夏休みを利用し、自習・工作・調理等の様々な機会を提供する青空学校開催（毎年8月上旬予定）				
春と秋に農業体験等、様々な生活に活かせる体験会を開催（毎年6月上旬および10月下旬予定）				
子ども達へ「楽しいひとときの間」を提供（毎年10月頃予定）			※南方小統合式典支援	
メンバー募集	定期的なワークショップ（年3回程度）を通じて主体的な事業の企画・実践			
メンバー募集	定期的なワークショップ（年3回程度）を通じて主体的な事業の企画・実践			
※ヤング&ミドルワークショップについては、状況に応じて統合も検討				
春と秋に農業体験等、様々な生活に活かせる体験会を開催（毎年6月上旬および10月下旬予定）				
デマンド型タクシー説明会	掘り下げたデマンド型タクシーニーズの収集		導入可否判断	
独居高齢者の安否確認手段・方法等の検討および実践（例：シクラメンの贈呈を通じた安否確認）				
有事（風水害等）を想定した実効性ある防災訓練等の開催（毎年定期開催予定）				
各行政区が主体的に実施する防災訓練等へ活動奨励補助金を交付（時期は各行政区）				
各行政区が実施する花壇等の美化活動へ奨励補助金を交付（各行政区毎年6月に実施）				
生育保持に向けた環境整備および管理者の育成。観察会のPR（通年）				

資料編

□ 住民アンケート調査結果

はじめに

第3次地域づくり計画を策定するにあたり、中学生以上の住民を対象としました地域づくり計画の参考に資する住民アンケートを令和7年5月に実施しました。

その結果は、東郷地区に住む皆さんの日頃感じている想いや意見等を公に収集することができ、大変有意義なものになったと捉えています。地元東郷への深い愛情、地域への貢献意識、そして、何とか地域をより良くしたいという強い気持ちがうかがえるものでありました。

また、自由意見等については、多くの方々から、多岐に亘ってご要望等を記載いただきました。今後の地域づくり計画を見直すうえで、貴重なご意見になるものであり、決して軽視することがないよう努めてまいります。

改めて、アンケートにご協力いただきました皆さんに心より感謝申し上げます。

○ 調査対象者数および回答数等

- ①地区内人口 : 2,625名
- ②中学生以上 : 2,353名
- ③アンケート配布数 : 2,022票

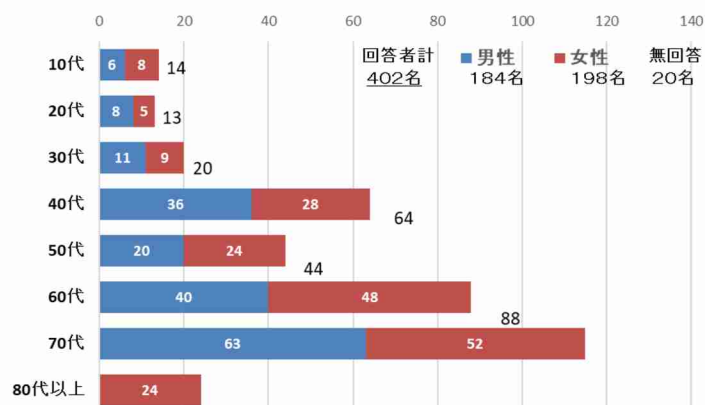
④回答数 : 402票

⑤回答率 : 20%

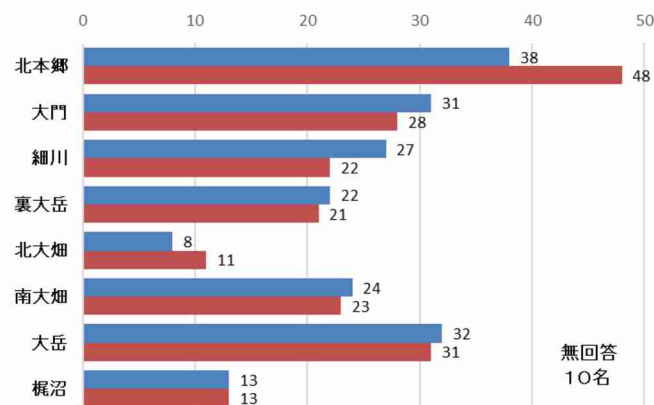
※アンケート配布数に対する割合

「回答者属性」

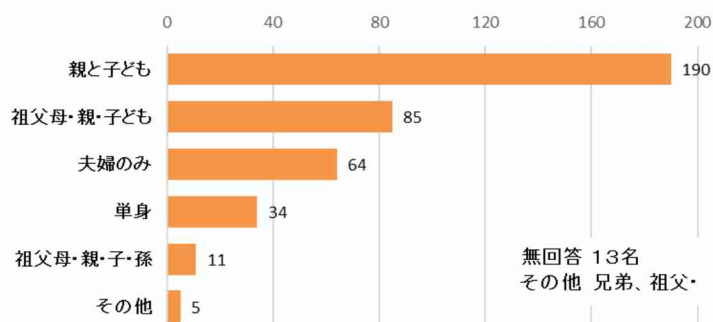
問1 年齢と性別



問2 お住いの行政区



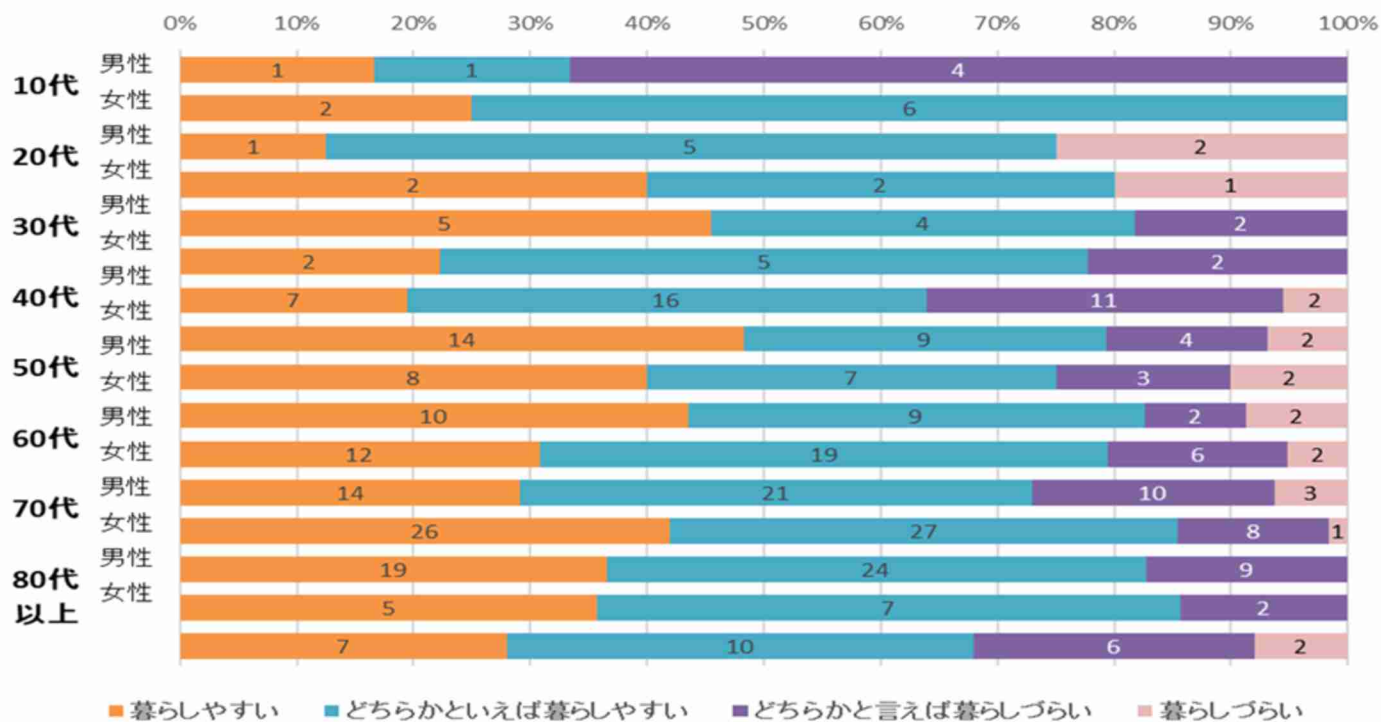
問3 家族構成



- ・回答者の年齢層は60代以上が約6割を占めており、高齢層の意向等が色濃く反映される傾向になると想定される。
- ・男女別ではほぼ同数程度であり、男性もしくは女性の偏った意向にはならないと思われる。
- ・世帯数が圧倒的に多い北本郷区の回答数が比例して多く、また、核家族の回答数が190件と約半数を占めている。

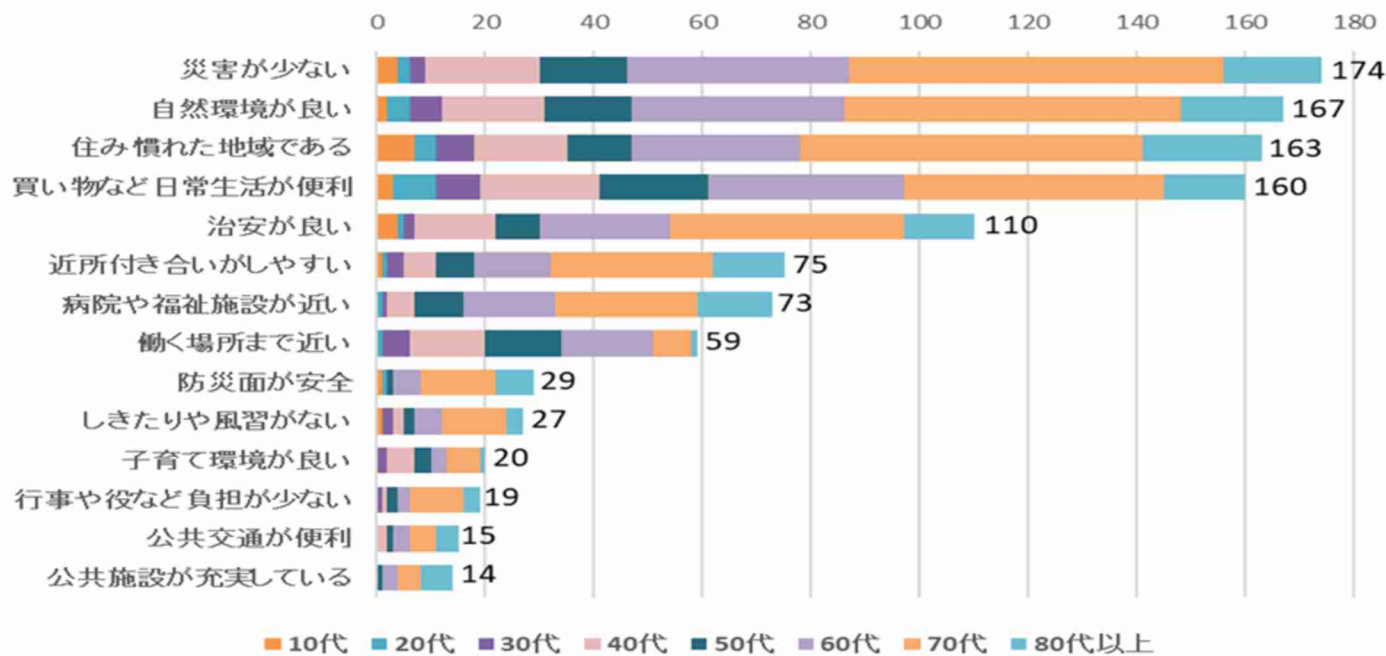
「回答者属性」

問4 暮らしやすさは



- ・回答者の約8割（307名）が「暮らしやすい/どちらかといえば暮らしやすい」と感じている。
- ・10代男性の回答数は多くはないものの、「どちらかといえば暮らしづらい」と感じている割合が高い。
- ・10代を除いて年代および男女別でみると、極端に大きな意向の相違は見受けられない。

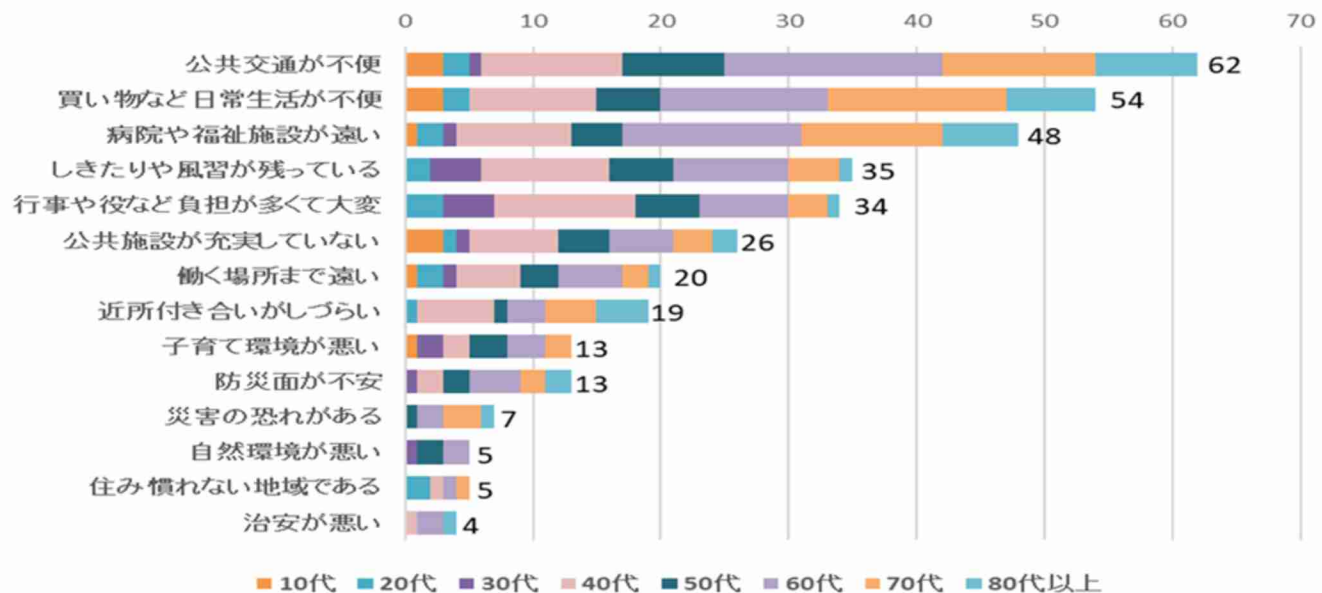
問5 どんなところが暮らしやすいか



その他：静か、コンビニがある

暮らしやすい理由として「災害が少ない」「自然環境が良い」「住み慣れた地域である」「買い物など日常生活が便利」の4点が主となっており、地域への愛着が一定程度根付いている傾向がうかがえる。

問6 どんなところが暮らしづらいか

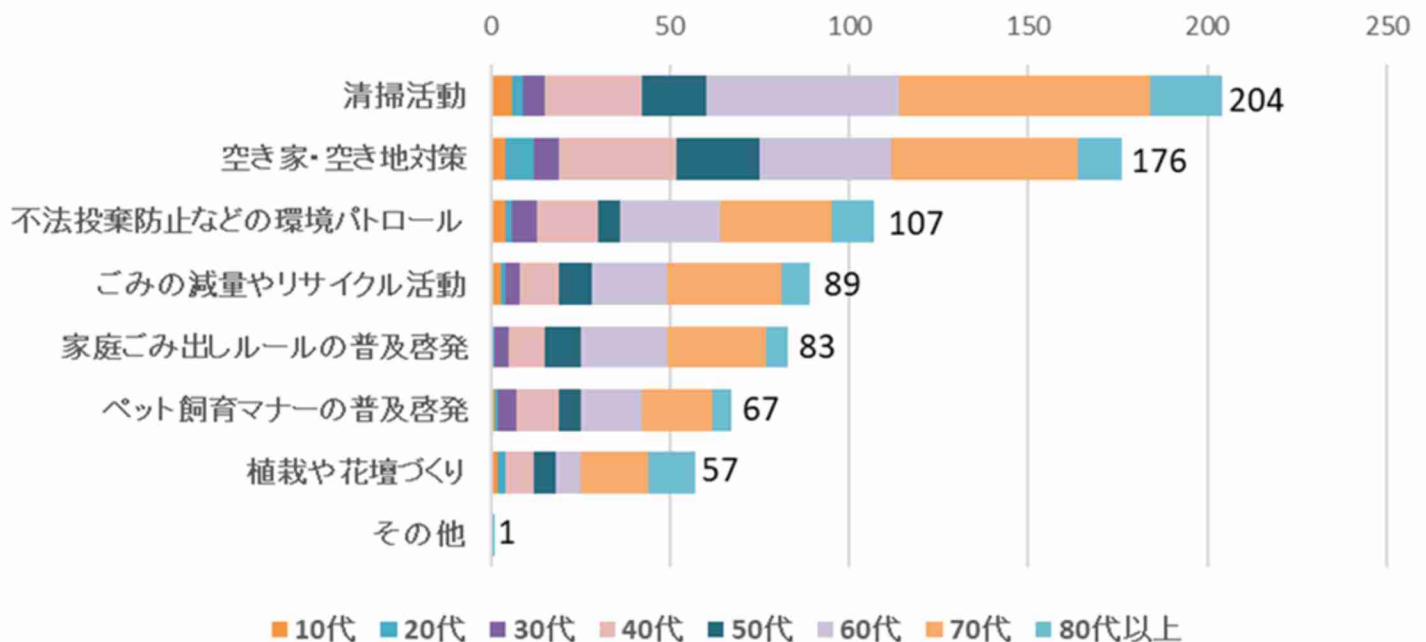


その他：公園の遊具が少ない、近所に高齢者しかいない、カラスの被害だけ欠点、バイクがうるさい、熊がでる、夜間タクシーがない、良い病院がない、街灯がない、バス停がない

- ・暮らしづらい理由として「公共交通が不便」「買い物など日常生活が不便」「病院や福祉施設が遠い」の3点が主となっており、いずれも高齢者層の意向が高く表れている傾向にある。
- ・「しきたりや風習が残っている」と「近所付き合いがしづらい」の2点が一定数あり、多様性や価値観の違いがうかがえる。

「生活環境」

問7 地区内の生活環境を守るために必要と思うことは

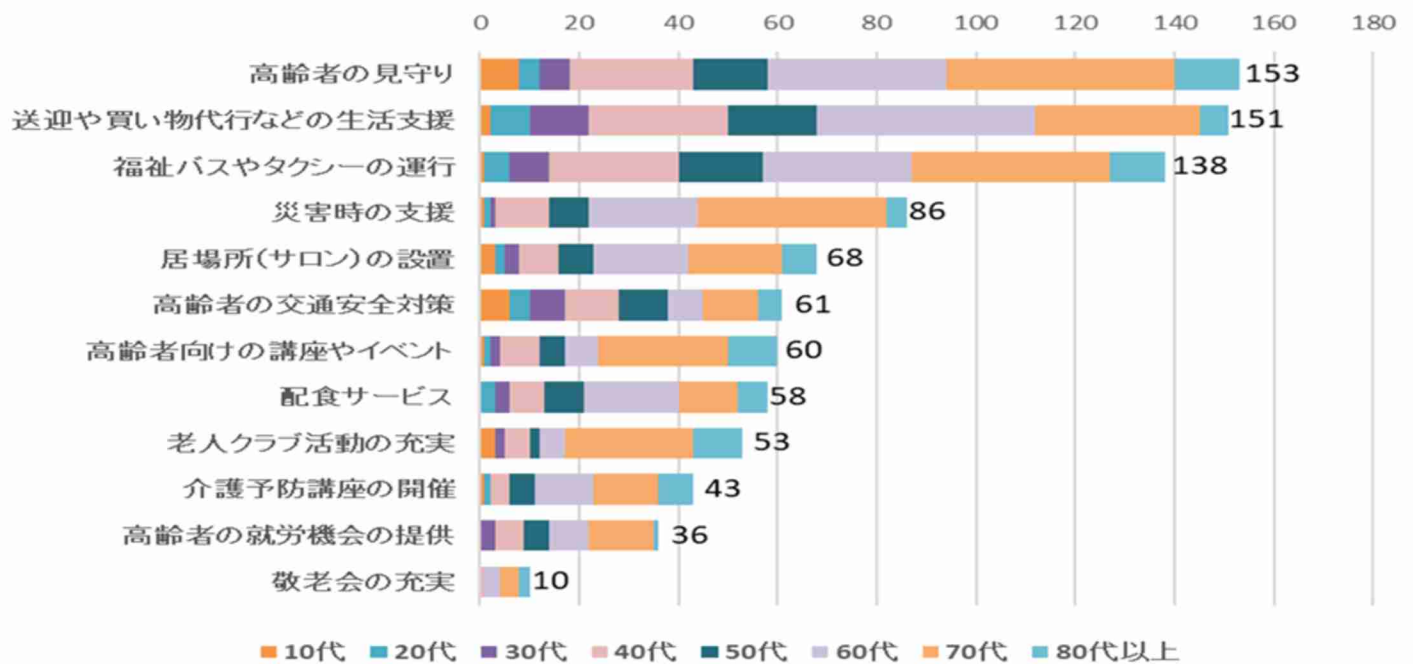


その他：パトロール、防犯強化、家畜（牛舎）が多い、地域交流会

- ・「清掃活動」および「空き家・空き地対策」2点のニーズが顕著に高く、特に空き家・空き地対策のニーズは今後も増加してくることが想定される。
- ・ごみ処理に関する意識の高さもうかがえ、自治会との連携による善処の必要性を認識。

「高齢者支援」 & 「子どもの健全育成」

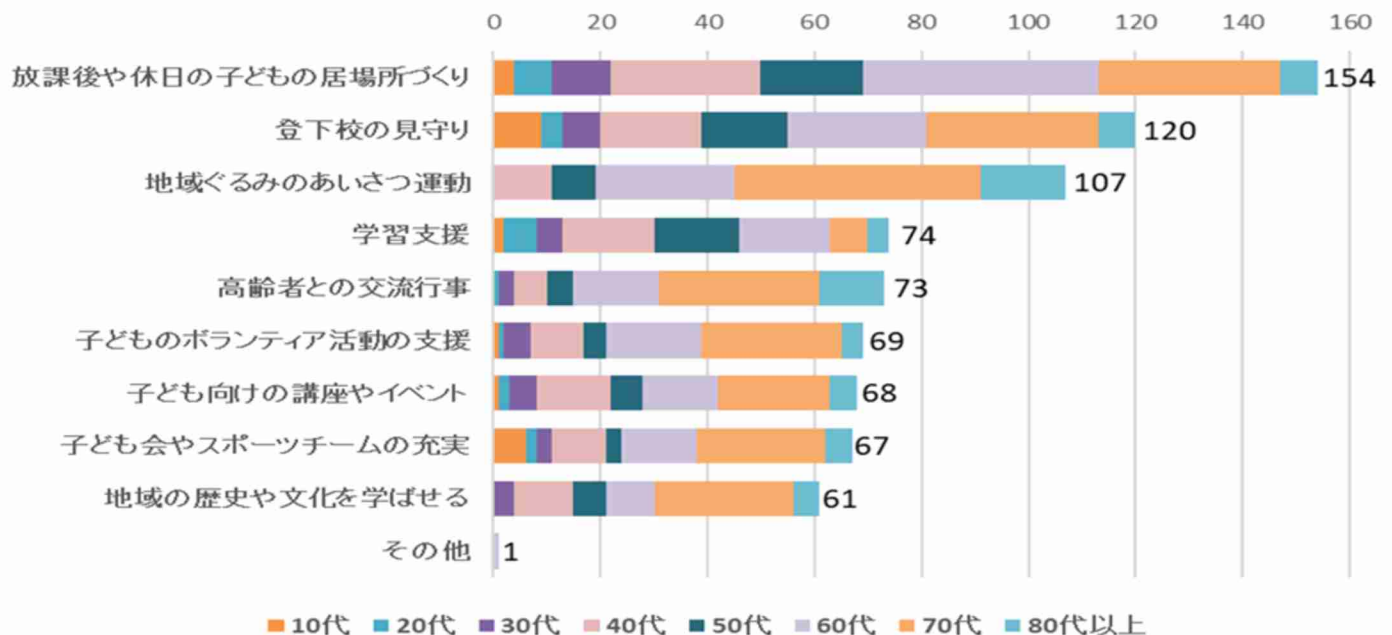
問8 高齢者が安心して暮らすために思うことは



その他：困りごとの相談と解決、生垣剪定

見守りのニーズの高さは勿論のこと、交通弱者に関するニーズの高さを把握することができ、今後益々そのニーズが高まることが想定され、具体的な支援策の検討が必要と捉える。

問9 子どもの健全育成のために何が必要と思うか

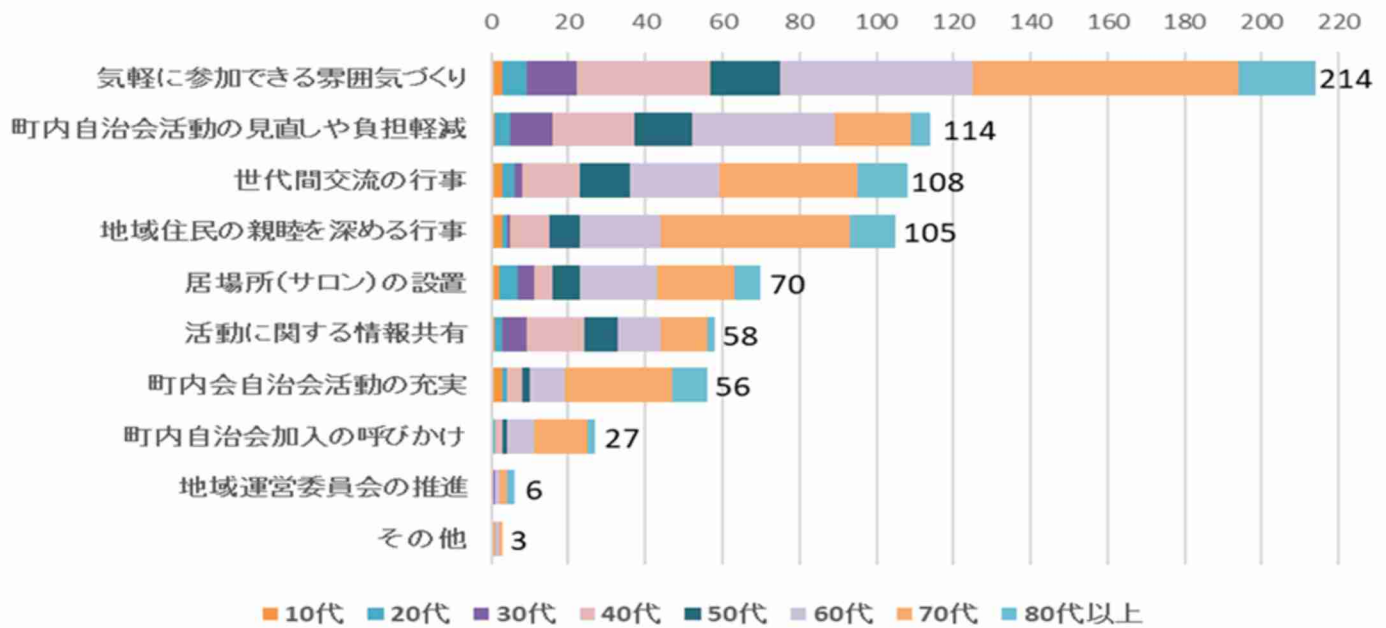


その他：大人は子ども達の模範となる言動を行うこと、いじめ防止、経済支援、新1年生の登下校の安全、ミラーの充実

- 学校以外の居場所づくりが必要と感じているニーズが高く、公民館がその居場所になり得るような取組みの必要性があると認識。
- 「登下校の見守り」「地域ぐるみのあいさつ運動」の2点もニーズが高く、少子高齢化の中、子ども達の成長を手助けしたいという意向がうかがえる。

「コミュニティに関する」

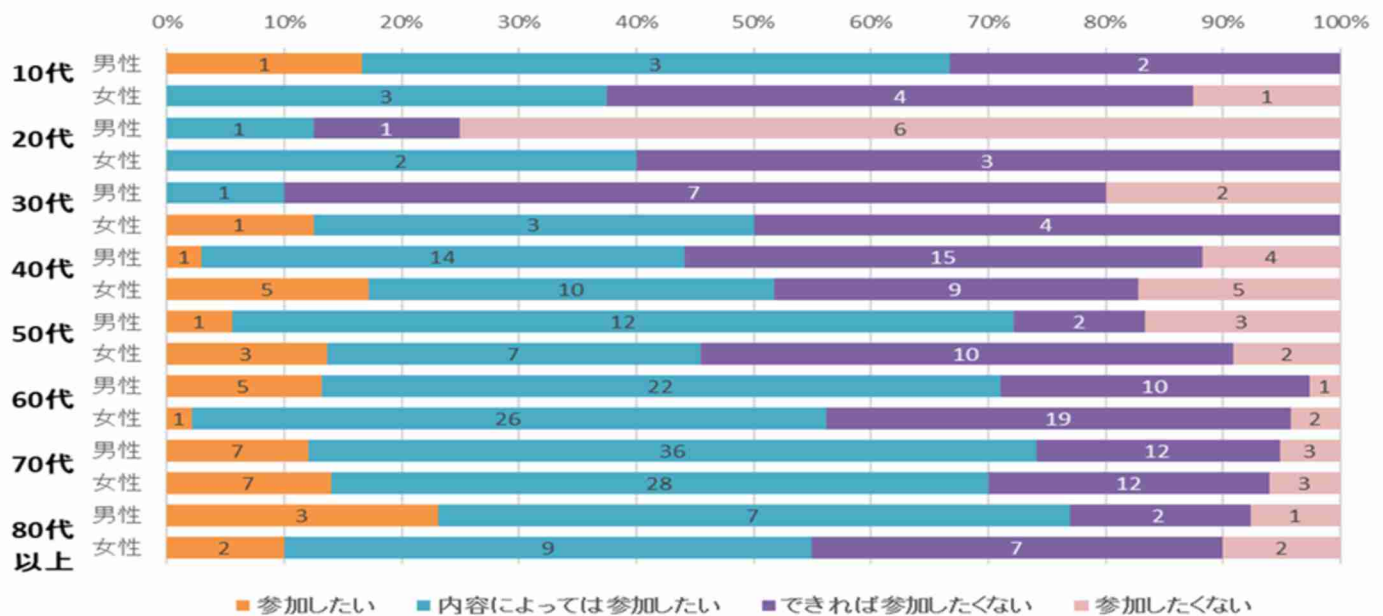
問10 地域の絆やコミュニティを守るために取り組むことは



その他：地域の歴史や文化を学ばせる、何もいらない、地域の良さを知る「歴史・文化・食」、障害者が参加できるような行事、無理のない活動や運営

「気軽に参加できる雰囲気づくり」のニーズが圧倒的に高く、世代や性別等の違いにより、その雰囲気も多種多様であると思われ、思わず足を運びたくなるような雰囲気とはこういったものか、まずはリサーチに努めたい。

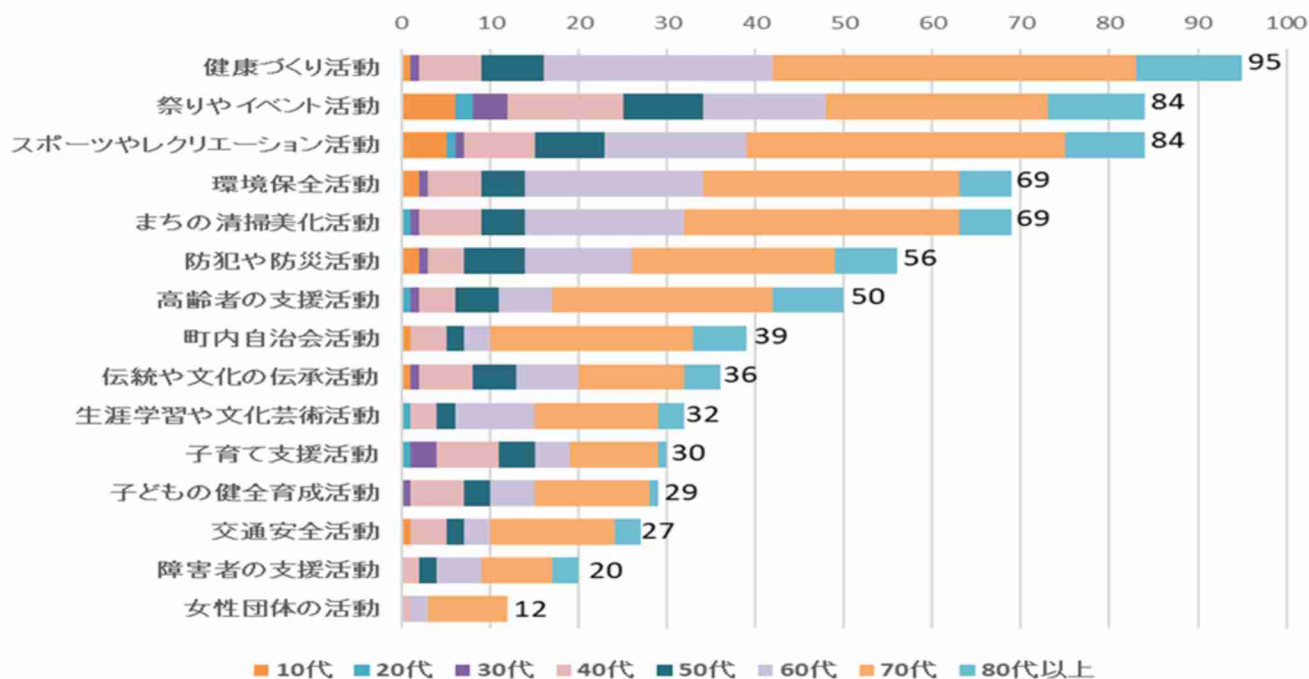
問11 コミュニティなどの行事や活動に参加してみたいか



その他：強制的に人と会るのが苦痛、病気で疲れやすいため参加出来ない、本人の了解なく役員にされる、参加しやすい雰囲気が無く古い習慣が残っている、事業予定は休日に入ってる為休日の行動時間や範囲が制限される

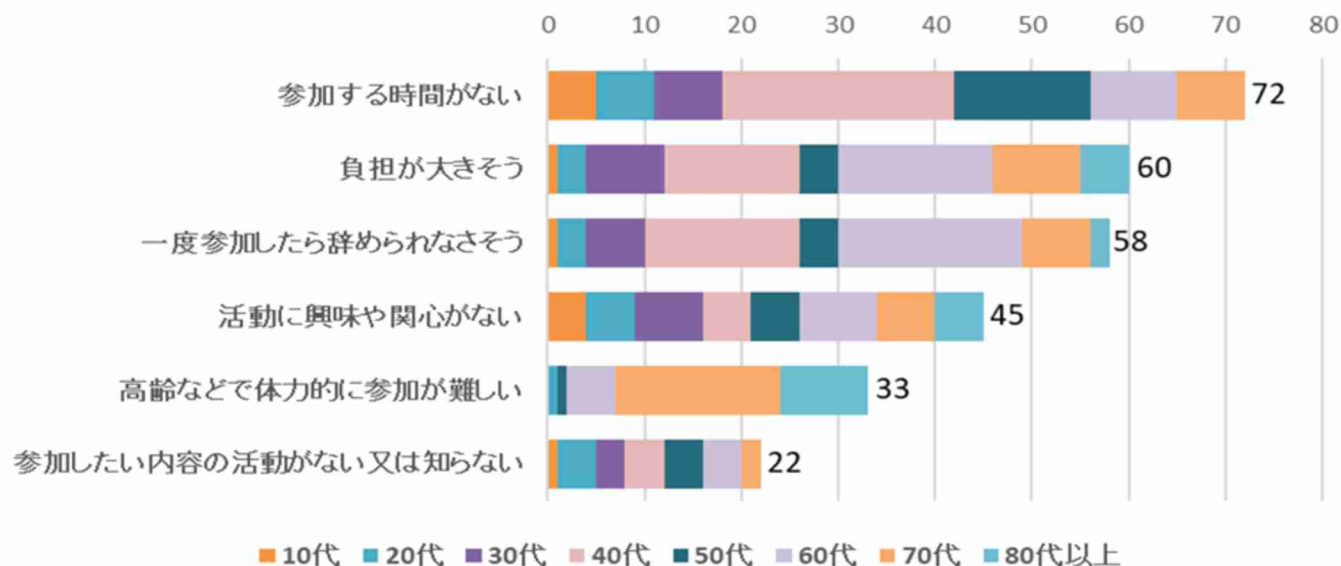
10代の男性を除いて、若い世代ほど、「できれば参加したくない」もしくは「参加したくない」の意向が高く、高齢になるにつれ「内容によっては参加したい」の意向が高い傾向にある。

問12 どんな行事に参加してみたいか



- ・回答者の年代が60歳以上が多く、全体の約6割を占めており、「健康づくり活動」のニーズが高く示され、高齢層の意向が顕著に示されたことがうかがえる。
- ・「祭りやイベント活動」「スポーツやレクリエーション活動」の若年世代のニーズが高く、全世代まんべんなくニーズがあることがうかがえる。

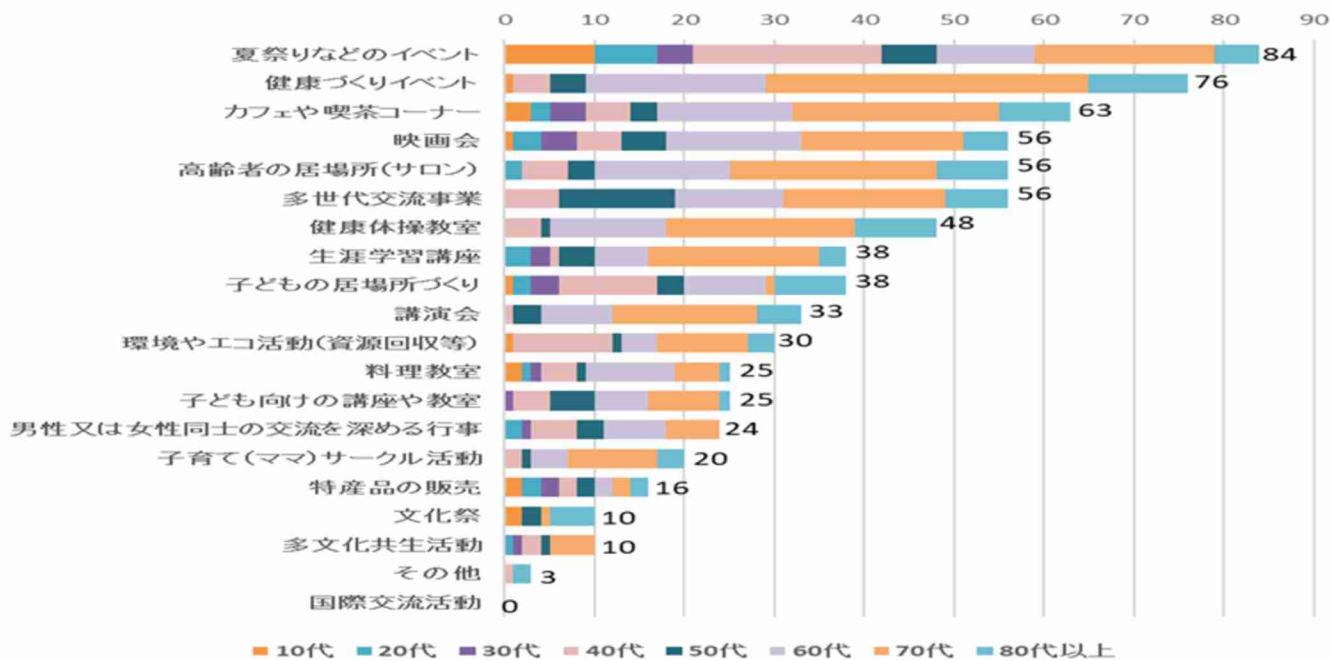
問13 参加できない、したくない理由は



その他：どこへ何しに行くのも足が無い

- ・現役世代（20代～50代）の「参加する時間がない」という意向が顕著に示された。
- ・「負担が大きそう」および「一度参加したら辞められなさそう」という意向も高く、マイナス思考が参加を見送っている大きな要因であることがうかがえる。
- ・70代以上は体力的に参加が難しいという意向が顕著に示された。

問14 コミュニティや地域団体に取り組んで欲しいことは

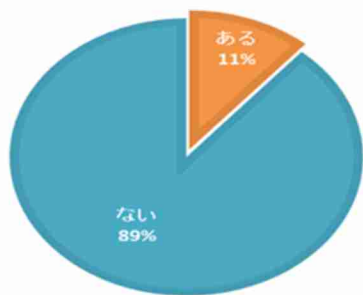


その他：日常的イベント、地域おこし、バザーの開催、専門的でない共同作業、通学路の安全確認と整備、農道にもなっているので清掃の実施

「夏祭りなどのイベント」のニーズが全世代から偏りなく、高い意向で示されており、にぎわいやふれあいの場の充実に努めることがポイントと認識。

問15 復活または見直しをしてほしい行事や風習はあるか

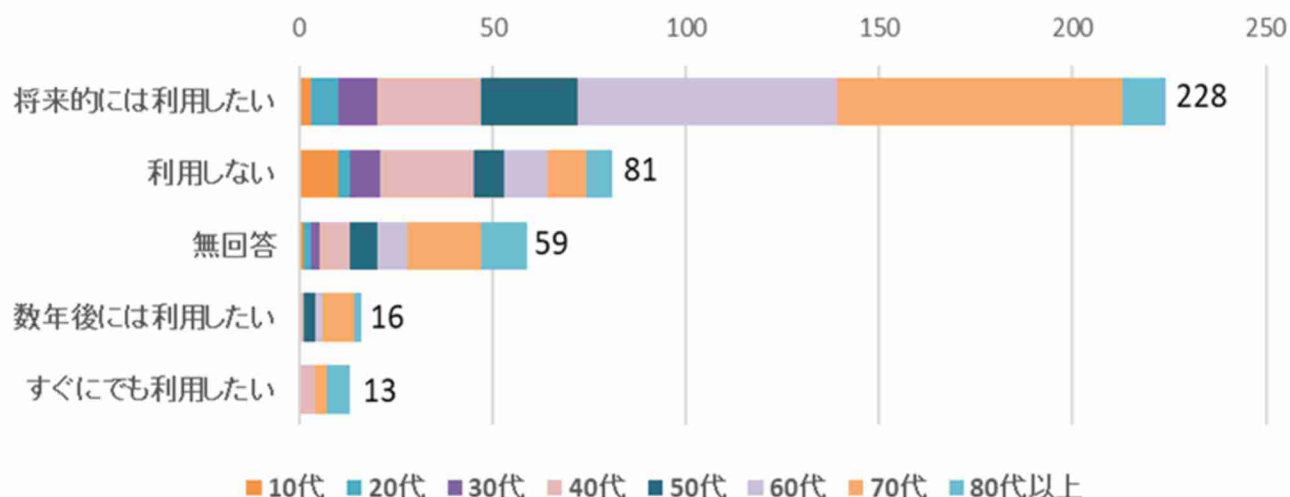
※元の意見から一部要約、行事・風習以外は自由記載へ
「ある」と回答された方



- ・ 運動会等男女問わず参加できるもの
- ・ 新川河川敷を整備して釣り公園にすることで、新川の環境保全に役立つ
- ・ ペタンクの部落対抗戦を再開して欲しい
- ・ 花壇花植え、田植え体験、マラソン大会
- ・ 交通安全母の会等の名称の変更を望みます。(性差の区別をなくすべき)
- ・ 東郷地区の風習が分からない。過去に行っていた行事など教えて欲しい
- ・ 年齢に上下なく行事を多くもちたい
- ・ 大規模なイベント(運動会)等をして欲しい
- ・ 環境保全活動
- ・ 亡くなった方のお知らせは不要
- ・ 緊急性がなければ、回覧板もたまってから月1日などでいい
- ・ 各行政区で伝わる文化や伝承なりを吸い上げて
- ・ 自治会の盆踊りがあるとよい
- ・ 通常行事の全面見直しを、改革なくして前進なし
- ・ 復活ではなく、減らす方向で見直すべき
- ・ 多世代交流事業として、皆が参加出来るものを
- ・ 地域の特徴となる様な行事又は活動を創造して
- ・ 運動会種目に、けん玉やメンコ、コマなどの軽スポーツ種目を入れ日程も負担の少ない時期を
- ・ どんな事が行われてるか知らないで、多くの形で情報発信があると良い
- ・ 地区の夏祭りを復活して欲しい
- ・ 地区全体での防災訓練
- ・ 大嶽山での春、秋の祭りの開催
- ・ 老若男女が気軽に出来るよう、日にちや時間帯を見直してほしい
- ・ 夏祭りや、盆踊りなど開催して欲しい
- ・ 型にはまらない柔軟なスタイルでの運動会
- ・ 少なくとも活動できたり楽しめる会が多いと良い
- ・ 老人会、婦人部の会、子供会の活動

「デマンド型乗合タクシー」

問16 デマンド型乗り合いタクシーを利用したいか



「すぐにでも利用したい」および「数年後には利用したい」と回答した人数が29名と一定数のニーズがあり、「将来的には利用したい」も含めると、全体の6割強となり、交通弱者支援の必要性は年々高まっていくものと推察され、デマンド型乗合タクシーの導入可否に向けた検討に着手したい。

自由意見

※一部を除き、ほぼ原文を掲載しております。貴重なご意見など、誠にありがとうございました。

分類	内容
コミュニティに関わる事項	前の事は分からないので（昔の行事や風習については分からない）書けませんが、地域のコミュニケーションをはかる行事があってもいいのかなと思います。都会は地域のつきあいや行事が少ないようで、いろいろと工夫して行い始めている所が多くなっているのに、この地域は人間同士の関係性が薄いような気がしています。地域の行事に積極的でない人、交流の少ない人に対しても交流したいと思えるような、地区が一体になれるような、そんな行事があってもいいのかなと。チャリだけでなく、なんかの工夫をして呼びかける活動が必要かなと。ここに住んでいて良かったと思えるような。
	地区においても少子高齢化と人口減少が進む中、これまでと同じ行事を同じようにやって行くことは不可能。無理に全員が集まらなくてもいいことを前提に、行事を企画して良い。参加者が十分楽しめることが大事。若い人や子供達が楽しめる行事、地域の良さや、歴史、文化、食の豊かさ、面白さを再認識出来る企画を継続してやって欲しい。外部との連携(大学、企業)、関係人口の拡大も必要。
	近隣との付き合いも希薄になっているので、世代を超えた交流が出来る場所を提供頂ければ、活動の場も増えていくのだと思います。一方で、同世代の交流も必要だと考えます。これを機会に、気の合う人が集まり、何かを（これが難しいのですが）始めるきっかけになれば良いと思います。区長さんや部長さん役員さんだけでなく、広く地域作りに興味がある方など集まって、話をする機会があるのも良いと思います。
	環境が良くとても住みやすい所で、とても満足している。少子高齢化により、地区活動が停滞していく事が危惧されます。持続可能な地区活動をそれぞれの行政区、そして東郷地区、南方地区、登米市と広げられるような、コミュニティ組織を見直して作っていく事が、必要ではないでしょうか。
	コロナの蔓延とスマートフォンの普及にて、あちこちの小規模のコミュニケーションの場が無くなった。よく何かの集まり後、誕生会をしましょう。と飲み物やお菓子など、色々なものを持ち寄り集まった。（次回は、誰それさんの番ですね。）とか。色々語り合う場があった。今は無い。公民館職員の方々にご苦労を掛けるが、指導が一番有り難い。後期高齢者の域に入って思考回路が落ち、体調も不良で生きることさえ無駄に思えてならない。再度申し上げますが、公民館の職員の方々の活動に感謝申し上げ、東郷地区の為に尽力くださいますようお願い申し上げます。あまり力を出しすぎて、体調を悪くしないように、申し添えます。何だかんだ失礼申し上げてごめんなさい。
	コロナ後の近所付き合いが無くなり、若い住民、子供達との交流が無く、どこで会ってもどこの人か分からない。高齢者にとっては多少なりとも不安があります。コロナも落ち着いてきたので、イベントにも若い人のお世話をいただく行事があった方が良くと思う。

分類	内 容
コミュニティに関わる事項	青年部（20代～40代）の世代間交流（活動、事業）以前盛んに、行なわれていた青年会活動（文化活動）等々。地区の担い手を育てる活動。
	若者が住めるためには、地域の活動は若者に任せるべき。（大人は口を出さない）所得に応じた安い住まいを、提供。（行政が全面的に応援を）子育ての手伝いを（保育から高校まで無料など）
	定住している方々とアパートなどで地域の活動に参加なさっていない方々とでかなりの温度差があると思います。特にお子さんや高齢の方がおられる時は、地域と積極的に関わっていた方が万が一、災害などが起きた時に被害が変わってくると思います。若者が安心して子育て出来る環境が無いと少子高齢化は加速する一方です。
	高齢者が多く、昔の風習が残っていたりして若い世代が住みづらい。子育ても昭和と令和で全然違うので、若い世代が住みたいと思えるようにしないといけない地区もあるのではないのでしょうか。私自身、子育てや地域活動で分からない事があっても、隣近所に同世代が居ないので、悩みの種でもあります。
	地域の行事や活動は大事なことだと思うが、仕事が忙しく参加出来ない、休みの日に行事などがあると、体を休めることが出来ず、疲れるが、参加しないと、悪く言われるのでやめてほしい。
	古いしきたりなどを廃止して、若い夫婦が住みやすい環境に出来たら良いと思う。
	大きな問題は無いように思う。チャリティーバザーなど開かれれば参加したい。
	無理矢理な地域コミュニティ行事の廃止を望みます。
	交流の場づくり。
	地区の一本化
行政区に関わる事項	地域により朝の清掃活動に差があることに疑問を感じます。本来市の責務であるものをなぜ住民が行わないといけないのでしょうか。家を建ててしまった事を後悔しています。引越したいです。早朝作業中に亡くなった方がいますが、夏はやめた方がよいのでは？＊他県です。
	地区によっては、名前を知らない。何処の誰かも知らない。そんな地域を良いと思いますか？交流で名前を知れたらいいのではないかと。何にも参加しない人もいるのに、どう良い地域にしようと思います？
	人が亡くなったお知らせは、班だけにしたい。遠い所の班の事を聞いても分かりません。早朝作業に出れない時のお金は、1000円でいいような気がします。今は土日でも仕事をしている人が沢山居ます。皆生活の為に働いているので、1000円に下げてもいいと思いますが、いかがでしょうか。（最近はどうも新しい家が建ち、若い人も増えているので）昔のやり方をどんどん変えていくべきだと思います。
	高齢化が進んだ行政区では、コミュニティ行事への参加に消極的な人が多く、役員なども毎回頼みやすい人にばかり依頼される事が多く、負担が多くなっている。壮年層で未婚の人も多く、生活に目一杯で余裕のある人が少なく感じる。
	地域貢献している方々（ボランティア活動）に対して、御礼の気持ちをもって接してもらいたい。例えば自分の子供達、孫達がお世話になっているのに全く知らない顔をしたりするのではなく、気軽にあいさつ御礼の気持ちをもって接していただきたいと思います。
	各行政区の活動を充実させ、その上に地区の事業を組み立てて欲しい。
	地区内の組織を簡潔化してほしい。
	地域の方々の協調性を高め多くの行事に参加すること。
	部落から離れたと思う人間が出ない様にするべき。
	東郷地区としては住みやすいと思う。行政区内の習慣やしきたりが、強くて困る。
	回覧板の回数が多い。LINEやメールの方が目に止まると思う。
	回覧板は、必要ですか？

分類	内 容
子どもに関わる事項	高齢者が増加しており、子供達が減少しています。人口不足もありますが、地区によっては子供数が減少し高齢者が増え、地区によっては子ども会の人数不足で活動出来ていないところもあります。それを解決するべき対策等を検討して頂き対応して頂けるようにお願いします。
	小学校が統合されるので、同じく小学校の統合のあった地域のケースなどを参考に、子供やその家族の快適な環境、サービス作りに取り組んでもらいたい。
	東郷地区は、豊かな自然があり中央、西郷よりも資源が豊富だと思う。子供の学習に特化した行事を企画する（勉強、自然のふれあい）事で東郷地区以外の方にも、PRできると思う。
	子供達の休日での生活を見ると、ゲーム機器での遊びが大半だと思います。ゲーム機器を全面否定するわけではないが、相手のある外での遊びが重要だと思います。その機会が必要であると思います。
	自然に恵まれています、交通の便が悪く、佐沼に行く事が多いです。子供の声もあまり聞こえないので、寂しさもあります。
	子供達からの元気なあいさつを聞きたいです。大きい声であいさつをすると返ってきますが、、、少し寂しいです。
	子供達が思い切り遊べる場所があったらいいと思います。
	子供が少ないと活気が無いですね。
	少子高齢化の防止。子供が少ない。
高齢に関わる事項	75才以上になった時、3日に1回たずねてくれる人、大丈夫ですかと声がけしてほしいです。となり近所の力になるから。
	今のままで良いと思います。出来れば週一度くらい、近所の方々とお会いして、交流を深める機会があれば良いと思います。
	老人に対して思いやりのある対応（過干渉にならず、適切な関心を）が求められます。適度な関心を持ち、安否を確認する。人口減少対策（嫁が来ない、婿が来ない現実、少子化問題）経済的に良であること、子供の教育に良であることが前提。安定収入が図れる職場があること。子育て環境が良であること。医療体制が充実していること。災害のない地域であること。老人が元気で居ること。が人口増加には、必要な要件です。
	少子高齢化は地域では大きな問題となっている。若者が年配者を支える時代から、年配者はある程度、年配者で支える時代になっている（人口バランスから仕方ない）為、より良い地域にする為には、健康で活力のある生活をしてもらい、助け合いの為の仕事をしてもらいたい。
	地区によっては、子供が少なく、高齢者が多く活動するのに、大変な事もあると思う。行きたくても歩けない。でも皆と話をしたいと思っています。こういう人達にも何かあっていいいいですよね？
	ゆくゆくは人が減って様々な事が困難になるので、全体的に近い所に人々が集まって、必要な施設も集めて生活していくようにしていけないといけないと思う。
	高齢化が進むので、高齢者のみの世帯の見回り制度を作り、高齢者の保護活動を実施する。孤独死や生活困難になっていないか等を未然に防止する。又亡くなられた場合の対応（死亡届等）をコミュニティとして取り組む。
	磁気の治療器具を設置しているそうですが、何歳から利用可能なのでしょう？そのへんのところをもう少しアピールして利用価値を上げていった方が良くとおもうのですが、、、

分類	内 容
環境に関わる事項	交流広場があり、子供大人にもとても良いところだと思いますが、夜とかは治安が悪い面もあります。外灯、日中パトロールがもっと欲しい。
	小学校、中学校まで遠い為、子供の登下校に不安があります。地域がら、高齢ドライバーが多く、交通事故に巻き込まれる事や、一部の外国の方による誘拐なども不安材料です。
	夜間思う事、街灯が少ないので暗く感じる。
	行政区は、住民の出入りが多くあるので、ゴミ出しルールがなかなか守ってもらえず、とても残念です。住民の交流も難しく、都会にでも居る様です。長い目で見て居りますが。
	北本郷地区のあちこちに街灯を設置してもらいたいです。それが犯罪防止の一助にもなると思います。ゴミの出し方の徹底も大事だと思います。
	ゴミのない、また捨てない！見つけたらすぐ拾う。
	バイクの空ふかしや、車がスピードを出していくのが怖い。夜中、車がサーキットの様に走り去っていく。
	日中、夜中とバイクの音がうるさい。
	空き家対策を何とかしてほしい。火災等が発生した場合（樹木等が繁雑しているため近隣住宅に延焼する可能性有り。）個人的なせっしょうではなかなか前に進まないと思うので、コミュニティでこの件について、一歩踏み込んでみてはいかがでしょうか。
	犬の散歩の方へ、私有地や田んぼのあぜ道に、糞の後始末をしていかないのは、如何なものかと。ペットのマナーの周知をきちんとしている方も居るのに、残念な所を目にします。
	農業を続けられ、子供、孫と代々暮らせる様な安定した生活が出来る様な、地域であると良いと思います。10年後、20年後荒れ果てた地域にならないことを願います。
交通に関わる事項	一番に交通の便です。
	市民バス等の、運行を増やして、交通の便を良くしてほしい。（10年後を目安に）
	住みやすい地域にする為、公共交通の充実を望みます。
	現在は運転出来るが数年後が不安である。現在健康に不安がある為数年後が不安。
	色々な場所が佐沼にあり、大変なアクセス。それと時間が制限されている。中学生がノーヘル運転や並進を歩道でしている。車の通りが多いのは、分かりますが歩行者にとっては、危険です。自転車のルールが来年から変わって、罰則がつかますが自転車の走るスペースがないくらいの車道が過過ぎて困っています。電動キックボードの販売、レンタル普及をお願いします。
	広範囲年齢層に歩いて行ける近場に、集い楽しめる娯楽施設や公園は少ない。予防注射や健康診断など、集合場所には、殆ど車や免許が必要となります。生活には困らないけれど、つまらない。
	免許証を返納した後の生活に不安がある。行政区担当の相談できる人が居てくれれば、安心出来ると思います。
	高齢に近づいてきてるので、車の運転が不可になると思うが、行事や物を提出したりするのに、遠いし足がないので非常に不便で困る。年齢により考え方が、違ってくると思うが、高齢になると色々な面で参加が厳しいと思う。昔と違って若い人の働き方で土、日、夜でも仕事があったりして、合わせるのが大変であると思う。
	デマンドタクシーは制度を見直さなければ市内では使いづらい。公民館の今の職員に感謝。変わらずこのままでお願いします。
	市デマンド型乗合タクシー制度の講演と講習会を希望します。

役職等	氏 名
会長	山 田 俊 道
副会長	門 脇 啓
副会長	鹿 野 幸 子
会計	三 浦 昭 彦
理事	千 葉 栄 悦
理事	永 倉 郁 裕
理事	伊 藤 和 好
理事	藤 原 太 悦
理事	柴 崎 道 博
理事	渡 辺 寛
生涯学習部長	高 橋 広 明
健康づくり部長	高 橋 博 信
安全・安心部長	石 川 由 依
環境美化部長	渡 辺 敬 一
地域づくり事業部長	佐々木 郁 夫
地域づくり事業副部長	渡 邊 伸
地域づくり事業部員	渡 邊 芳 勝

役職等	氏 名
地域づくり事業部員	鎌 田 巧
地域づくり事業部員	嶽 内 慶 之
地域づくり事業部員	佐々木 明 美
地域づくり事業部員	千 葉 慶 信
地域づくり事業部員	佐々木 一 夫
東郷小PTA副会長	川 原 し ほ
大門区長推薦	門 脇 智 美
支援チーム	佐々木 美 和
	西 城 幸 進
	熊 谷 美 彦
	氏 家 和 寛
	佐 藤 幸 広
事務局	佐々木 雄 幸
	鎌 田 直 美
	田 口 瞳
	佐々木 愛

❖第1回（5月30日開催）



❖第2回（7月11日開催）



❖第3回（9月5日開催）

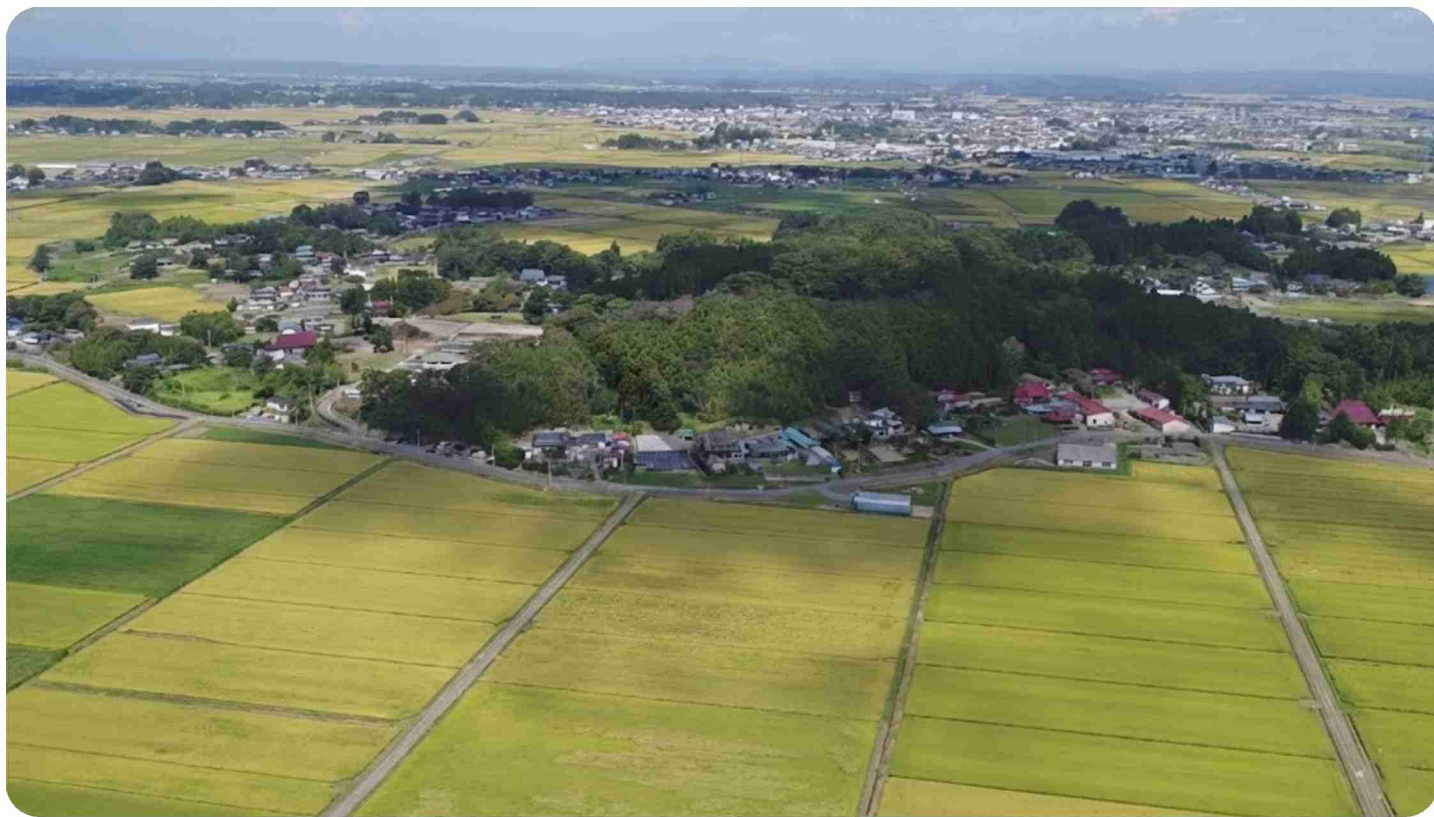


❖第4回（11月14日開催）



❖第5回（2月13日開催）





＊梶沼方面から望んだ大嶽山

令和8年3月

東郷地区コミュニティ推進協議会
< 第3次東郷地区地域づくり計画策定委員会 >

【事務局】

東郷公民館内

〒987-0423

宮城県登米市南方町本郷大嶽37

tel : 0220-58-4579 fax : 0220-23-7251

e-mail : oodakesan@car.ocn.ne.jp